

流通ビジネスメッセージ標準[®]

運用ガイドライン（預り在庫センター編）第1.3.2版

2013年 4月

No	タイトル	変更事項
1	第1.3.1版(2012年 4月)作成	CR[2012-01-001] : 繰返し項目について「相対間との調整する」と注意書きを追記
2	第1.3.2版(2013年 4月)作成	CR[2013-04-003] : 誤字の修正

「預り在庫型センター納品プロセス」ガイドライン体系

1. メッセージ標準化の概要

(1) 標準化の適用範囲

- ・本件のメッセージの標準化は卸・メーカーとセンター間の入庫、在庫報告、不良在庫の引取に関わる業務プロセスを対象
- ・使用する標準メッセージは在庫補充勧告、入庫予定、入庫確定、在庫報告の4つ

(2) メッセージの機能概要

- ・入庫、在庫報告、不良在庫の引取に関わる各業務プロセスで使用するメッセージと機能を概説

(3) メッセージフロー全体詳細

- ・小売、センター、卸・メーカーの3社間の取引関係を示したメッセージフロー図

2. メッセージ項目概説

(1) メッセージ別項目およびコードリスト一覧

- ・在庫補充勧告、入庫予定、入庫確定、在庫報告の各メッセージ項目とコードリストの一覧

(2) メッセージ項目を使用するうえでの留意点

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス

- 1) 入庫プロセスの概要
- 2) 在庫補充勧告メッセージ
- 3) 入庫予定メッセージ
- 4) 入庫確定メッセージ
- 5) 代行発注について

(2) 在庫報告プロセス

- 1) 在庫報告プロセスの概要
- 2) 在庫マスタ情報
- 3) 在庫トランザクション情報

(3) 不良在庫の引取プロセス

- 1) 不良在庫の引取プロセスの概要
- 2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ

I. 預り在庫型センター納品プロセス

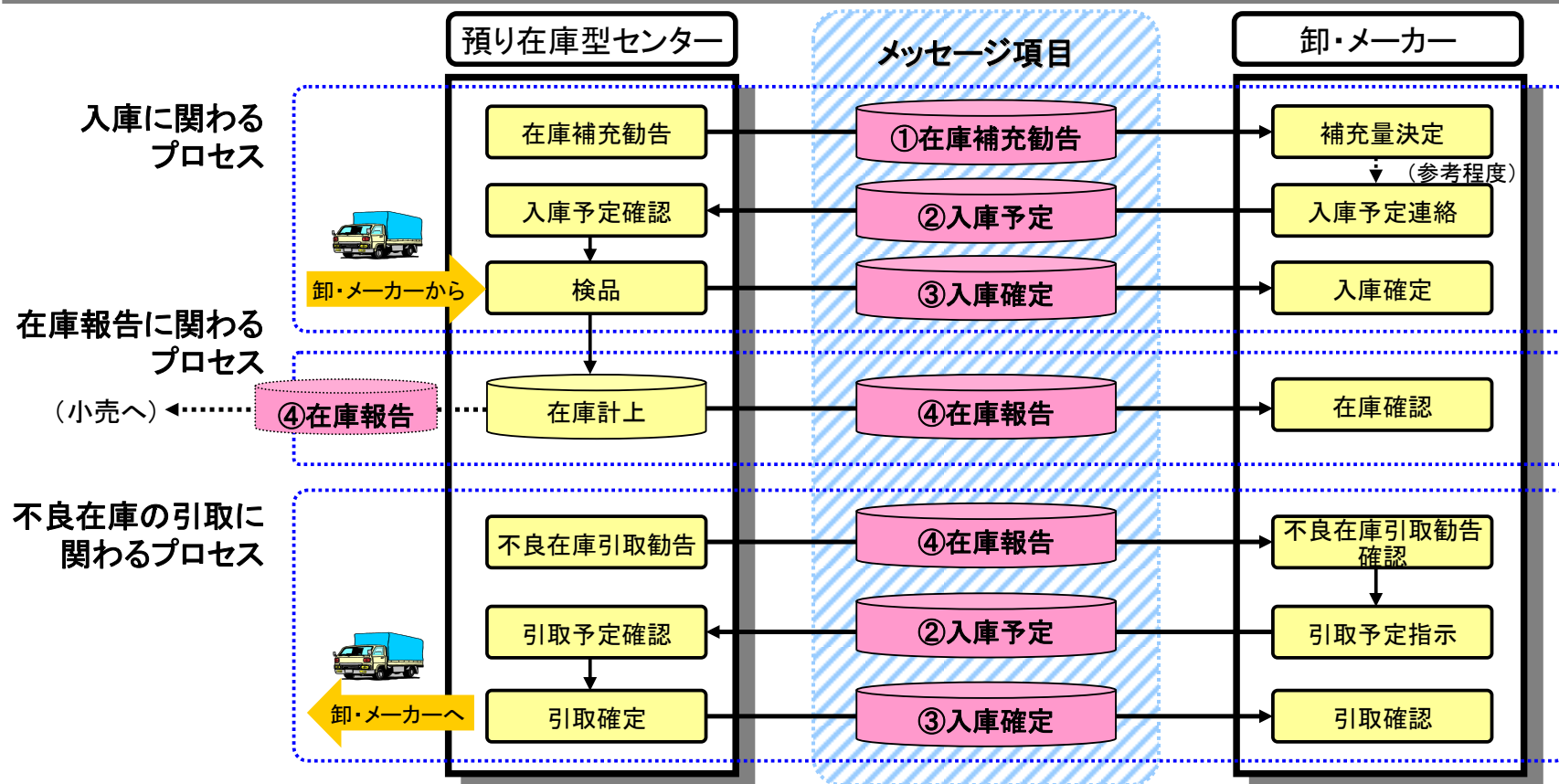
1. メッセージ標準化の概要	
(1) 標準化の適用範囲	5
(2) メッセージの機能概要	6
(3) メッセージフロー全体詳細	7
2. メッセージ項目概説	
(1) メッセージ別項目およびコードリスト一覧	10
(2) メッセージ項目を使用するうえでの留意点	11
3. メッセージの基本定義とセット方法	
(1) 入庫プロセス	
1) 入庫プロセスの概要	15
2) 在庫補充勧告メッセージ	17
3) 入庫予定メッセージ	20
4) 入庫確定メッセージ	23
5) 代行発注について	33
(2) 在庫報告プロセス	
1) 在庫報告プロセスの概要	38
2) 在庫マスタ情報	39
3) 在庫トランザクション情報	42
(3) 不良在庫の引取プロセス	
1) 不良在庫の引取プロセスの概要	47
2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ	48
(ご参考) メッセージ構造	
1. メッセージの構造	
(1) XMLについて	53
(2) メッセージの基本的構造について	54
2. メッセージ別の階層構造概要	55

1. メッセージ標準化の概要

1. メッセージ標準化の概要

(1) 標準化の適用範囲

- 預り在庫型センターとは、卸・メーカーが、小売のセンターあるいは、小売が卸や物流業者(3PL)に運営委託しているセンターに予め商品を卸・メーカー在庫として、保管しておくビジネスモデルのことを指す。
- したがって、本件の『預り在庫型センター納品プロセス』におけるメッセージの標準化は、『預り在庫型センター』と『卸・メーカー』間における業務プロセスを対象としている。
- 本件で使用する標準メッセージは、①在庫補充勧告メッセージ、②入庫予定メッセージ、③入庫確定メッセージ、④在庫報告メッセージの4つであり、これらのメッセージをセンター／卸・メーカー間の「入庫に関わるプロセス」、「在庫報告に関わるプロセス」、「不良在庫の引取に関わるプロセス」の3つの業務プロセスに適用する。



1. メッセージ標準化の概要

(2) メッセージの機能概要

預り在庫型センターと卸・メーカー間の各業務プロセスで使用するメッセージの機能概要を以下に示す。

プロセス	使用メッセージ	機能概要	メッセージフロー
入庫に関わるプロセス	①在庫補充勧告	センターはセンター内の適正在庫を維持するために、卸・メーカーに対して在庫補充依頼を勧告する。	センター → 卸・メーカー
	②入庫予定	卸・メーカーはセンターに入庫する商品、入庫する予定日、入庫する予定数量などをセンターに連絡する。	センター ← 卸・メーカー
	③入庫確定	センターは卸・メーカーから入庫されてきた商品を検品し、検品した数量を卸・メーカーに連絡する。	センター → 卸・メーカー
在庫報告に関わるプロセス	④在庫報告 (在庫マスタ情報)	センターはセンター内の良品在庫、不良在庫などのストック情報を卸・メーカー、小売に報告する。	センター → 卸・メーカー センター → 小売
	④在庫報告 (在庫トランザクション情報)	センターは良品在庫の入出庫、不良在庫などの引取や精算といった、センター内の総在庫が日々変動する情報を卸・メーカー、小売に報告する。	
不良在庫の引取に関わるプロセス	④在庫報告	センター内で卸・メーカー責の不良在庫が発生した場合、センターは不良在庫の引き取りを卸・メーカーに勧告する。	センター → 卸・メーカー
	②入庫予定	卸・メーカーは不良在庫となった商品、数量、引き取り予定日などをセンターに連絡する(入庫予定メッセージを引取区分に変更して使用)。	センター ← 卸・メーカー
	③入庫確定	不良在庫の引取り後、センターは引取りが確定した旨を卸・メーカーに連絡する(入庫確定メッセージを引取区分に変更して使用)。	センター → 卸・メーカー

The flowchart illustrates the supply chain process across four main sections:

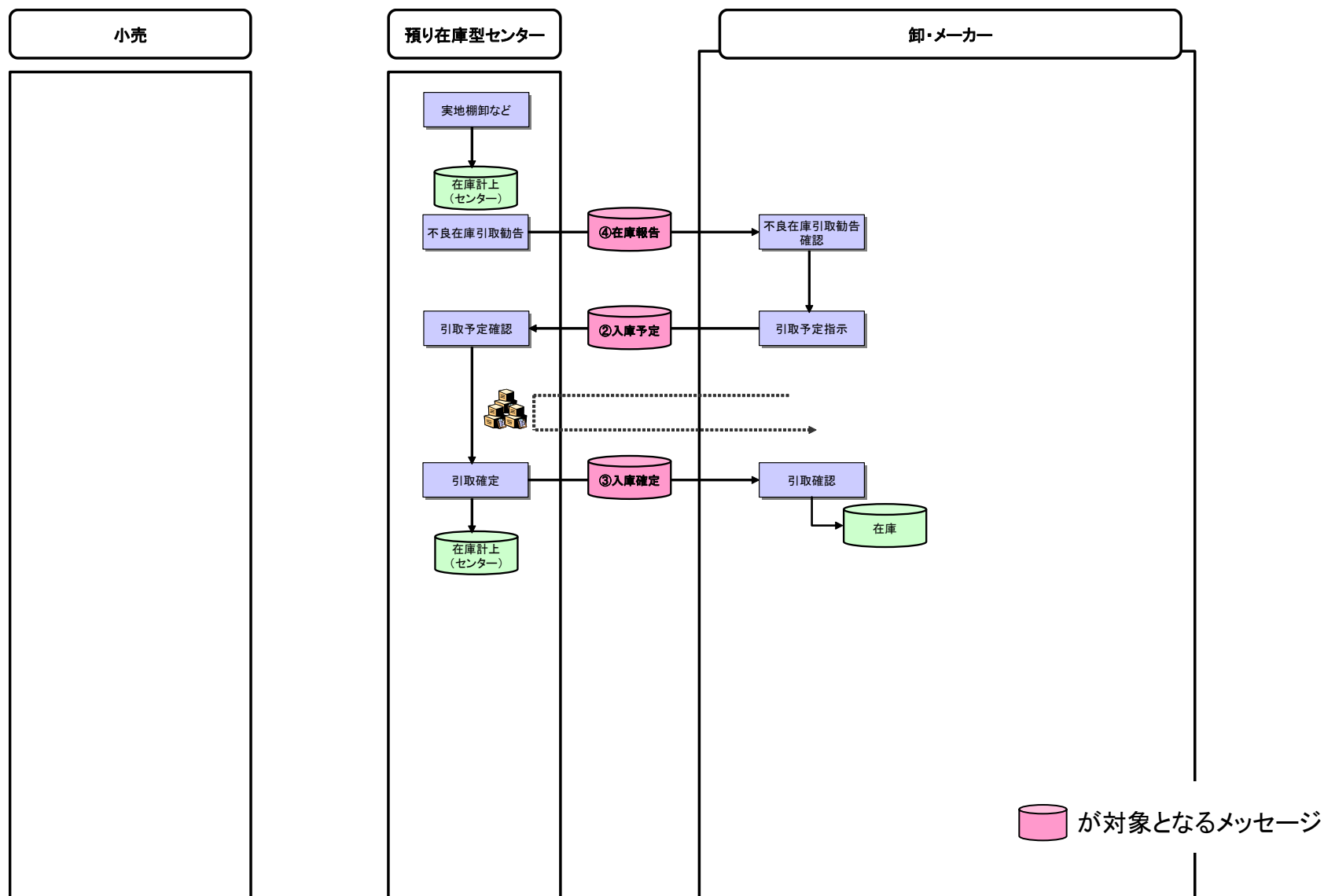
- 小売 (Retail):**
 - Processes: 在庫確認 (Inventory Check), 発注(店別) (Order by Store), 入荷 (Arrival), 検品・受領(店・センター) (Inspection/Receipt at Store/Center), 仕入計上(店) (Purchase Accounting at Store), 請求確認 (Request Confirmation), 支払案内 (Payment Advice), 買掛 (Accounts Payable), 支払 (Payment).
 - Data: 発注 (Order), 受領 (Receipt), 仕入計上 (Purchase Accounting), 請求 (Request), 支払 (Payment).
- 預り在庫型センター (Advance Inventory Center):**
 - Processes: 在庫補充勧告 (Inventory Replenishment Recommendation), 入庫予定 (In-Stock Forecast), 検品・入庫確定 (Inspection/In-Stock Confirmation), ④在庫報告 (Inventory Report), 在庫引当 (Inventory Allocation), 出荷 (Shipment).
 - Data: ①在庫補充勧告(数量) (Inventory Replenishment Recommendation (Quantity)), ②入庫予定(数量) (In-Stock Forecast (Quantity)), ③入庫確定 (In-Stock Confirmation), ④在庫報告 (Inventory Report), 発注(店別) (Order by Store), 出荷(店別) (Shipment by Store), 納品(店別) (Delivery by Store).
 - Inventory: 在庫計上(センター) (Inventory Accounting at Center).
- 卸・メーカー (Wholesale/Manufacturer):**
 - Processes: 在庫補充数量決定 (Inventory Replenishment Quantity Decision), 入庫予定連絡/メーカー発注 (In-Stock Forecast Contact/Manufacturer Order), 出荷案内確認 (Shipment Advice Confirmation), 入庫確定 (In-Stock Confirmation), 在庫確認 (Inventory Check), 受注(店別) (Order by Store), 受領確認 (Receipt Confirmation), 請求 (Request), 支払確認 (Payment Confirmation), 受取 (Receipt).
 - Data: 発注 (Order), 出荷 (Shipment), 受注 (Order), 受領(出荷)(店) (Receipt (Shipment) (Store)), 請求 (Request), 支払 (Payment).
 - Inventory: 在庫 (Inventory).
- メーカー (Manufacturer):**
 - Processes: 受注 (Order), 出荷案内 (Shipment Advice).
 - Data: 発注 (Order), 出荷 (Shipment).

Legend: 対象となる在庫 (Inventory to be targeted) - represented by pink cylinders.

1. メッセージ標準化の概要

(3)メッセージフロー全体詳細(2/2)

(不良在庫の引取に関わるプロセス)



2. メッセージ項目概説

2. メッセージ項目概説

(1)メッセージ別項目およびコードリスト一覧

別添資料「メッセージ別項目一覧」および「コードリスト一覧」を参照

2. メッセージ項目概説

(2)メッセージ項目を使用するうえでの留意点

①企業を識別するための項目について(全メッセージ共通)

企業を識別するために以下の項目を各メッセージに設定している。

なお、GLNの定義や使用方法については、本ガイドラインの「Ⅲ. メッセージ項目の解説」の「2. メッセージ項目解説」の「(1)企業識別 3)GLNについて」を参照。

	項目	必須／任意	桁数	意味
取引先 (卸／メーカー) を表す項目	取引先コード	必須	MAX13	センターに入庫を行う(センターと取引を行っている)卸／メーカー企業を表す独自コード。事前の取決めにより、卸／メーカーまたはセンターが指定。
	取引先GLN	必須	MAX13	卸／メーカー企業を表すGLN。事前の取決め(契約)により卸／メーカー側が指定。GLNを使用しない場合は「0」を固定。
預りDCの出荷 先を表す項目	小売コード	必須	MAX13	センター在庫の出荷先を識別するための小売企業を表す独自コード。
	小売GLN	必須	MAX13	小売企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。
預りDCを 表す項目	センターコード	必須	MAX13	卸／メーカが商品を入庫する(卸／メーカーと取引を行っている)センターを表す独自コード。事前の取決めにより卸／メーカーまたはセンターが指定。
	センターGLN	必須	MAX13	センターを表すGLN。センター側が指定。GLNを使用しない場合は「0」固定。
メーカーを表す 項目	メーカーコード	任意	MAX13	メーカー企業を表す独自コード。メーカーがセンターに直接入庫をおこなう場合にこの項目を使用する。
	メーカーGLN	任意	MAX13	メーカー企業を表すGLN。GLNを使用しない場合は「0」を固定。

②商品を識別するための項目について(全メッセージ共通)

商品を識別するために以下の項目を各メッセージに設定している。

なお、商品コードのセット例などについては、本ガイドラインの「Ⅲ. メッセージ項目の解説」の「2. メッセージ項目解説」の「(2)商品識別 1)商品コード」を参照。

	項目	必須／任意	桁数	意味
商品コード	商品コード(GTIN)	必須	MAX14	共通商品コード。現状はJAN,EAN,UPCを使用(前ゼロ)。GTINによる商品識別を行う場合、消費者購入単位のGTINをセット。共通商品コードを使用しない場合は「0」固定。
	商品コード(発注用)	必須	MAX14	小売が管理する発注用コード。ここにセットされたコードで納品される商品が特定される。
	商品コード(取引先)	任意	MAX14	卸／メーカー側での商品管理に使用している商品コード。

2. メッセージ項目概説

(2)メッセージ項目を使用するうえでの留意点

③メーカー出荷拠点を識別するための項目について(入庫予定メッセージ)

メーカーが入庫予定を作成することを考慮して、メーカーの出荷拠点を識別するための以下の項目を入庫予定メッセージに設定している。

なお、「枝番」と「出荷先コード」の考え方については、本ガイドラインの「Ⅲ. メッセージ項目の解説」の「2. メッセージ項目解説」の「(1)企業識別 3)GLNについて」を参照。

	項目	必須／任意	桁数	意味
メーカーの出荷拠点	枝番	任意	MAX2	一つのメーカーコードの中で、取引明細データの括りを分ける場合にメーカーコードの下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設定する。
	出荷先コード	任意	MAX4	「メーカーコード」+「枝番」のくくりの中で、さらに取引明細データの括りを分ける必要がある場合に、枝番の下階層の区分けコードとして使用する。事前の当事者間の合意のもとに、メーカー側が設定する。
	出荷場所GLN	任意	MAX13	メーカーの出荷拠点を表す、メーカー側が設定する物流用GLN。入荷業務を行う際に、この項目と、センター納品書番号をキーにして出荷データを抽出する。事前の取決め(契約)によりメーカー側が指定。

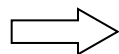
④賞味期限日別の数量項目について(全メッセージ共通)

商品の安心・安全を配慮して、賞味期限日別の数量を繰返し項目として任意に設定している。

当該項目のセット方法例として、入庫確定メッセージの賞味期限日別の入庫確定数量のセット例を以下に示す。

【例】

	項目(例)	必須／任意	桁数	意味
賞味期限日別の数量項目	賞味期限日	任意	(Date)8	入庫された商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限日。
	賞味期限日別入庫確定数量	任意	MAX7	入庫された商品(またはその外箱)に印字されている賞味期限別の数量。



賞味期限日	20100331 (2010年3月31日)	20100430 (2010年4月30日)	20100531 (2010年5月30日)
入庫確定数量	200 (200個)	200 (200個)	200 (200個)

※該当項目は賞味期限日別にデータが発生するためスキーマは繰返し項目になっています、繰返し回数は相対間で調整して確定する。

2. メッセージ項目概説

(2)メッセージ項目を使用するうえでの留意点

⑤荷姿情報の項目について(在庫補充勧告、入庫予定、入庫確定メッセージ)

センターでの入庫検品時に使用するデータとして荷姿情報を通常品・キャンペーン品等に対応する為に繰り返し項目として任意に設定している。

なお、当該情報のITFコード(集合包装GTIN)を使用する場合は必ず数量項目(荷姿数)も合わせてセットする。

該当項目は繰り返し項目になっています、繰り返し回数は相対間で調整して確定する。

⑥小数点以下をセットできる数量項目について(全メッセージ共通)

荷姿情報以外の各種数量項目は、小数点以下1桁まで数量をセットすることができるように設定している。小数点付きのデータ項目を取り扱ううえでは、以下のようにセットする。

例:入庫確定数量(バラ)「10」の場合、「10」または、「10. 0」をセットする。仮想小数点的に「100」を10と読み替える使い方はしない。

⑦符号付きの数量項目について(在庫報告メッセージ)

在庫報告メッセージの数量項目でマイナスが発生する項目については、符号項目を設定している。符号付きの数量項目を取り扱ううえでは、数量をセットした場合、必ず符号もセットする。

なお、符号のセットは、数量がプラスの場合は「+」を、数量がマイナスの場合は「-」を符号項目にセットする。

⑧在庫報告メッセージの「指標等設定情報」項目について

指標等設定情報については、在庫管理に関わる指標等結果を、小売や卸・メーカーに報告するために使用することを目的とし、10項目まで設定することが可能である。

なお、当該情報を設定するにあたっては、小売、センター、卸・メーカーの3社間で取り決める。

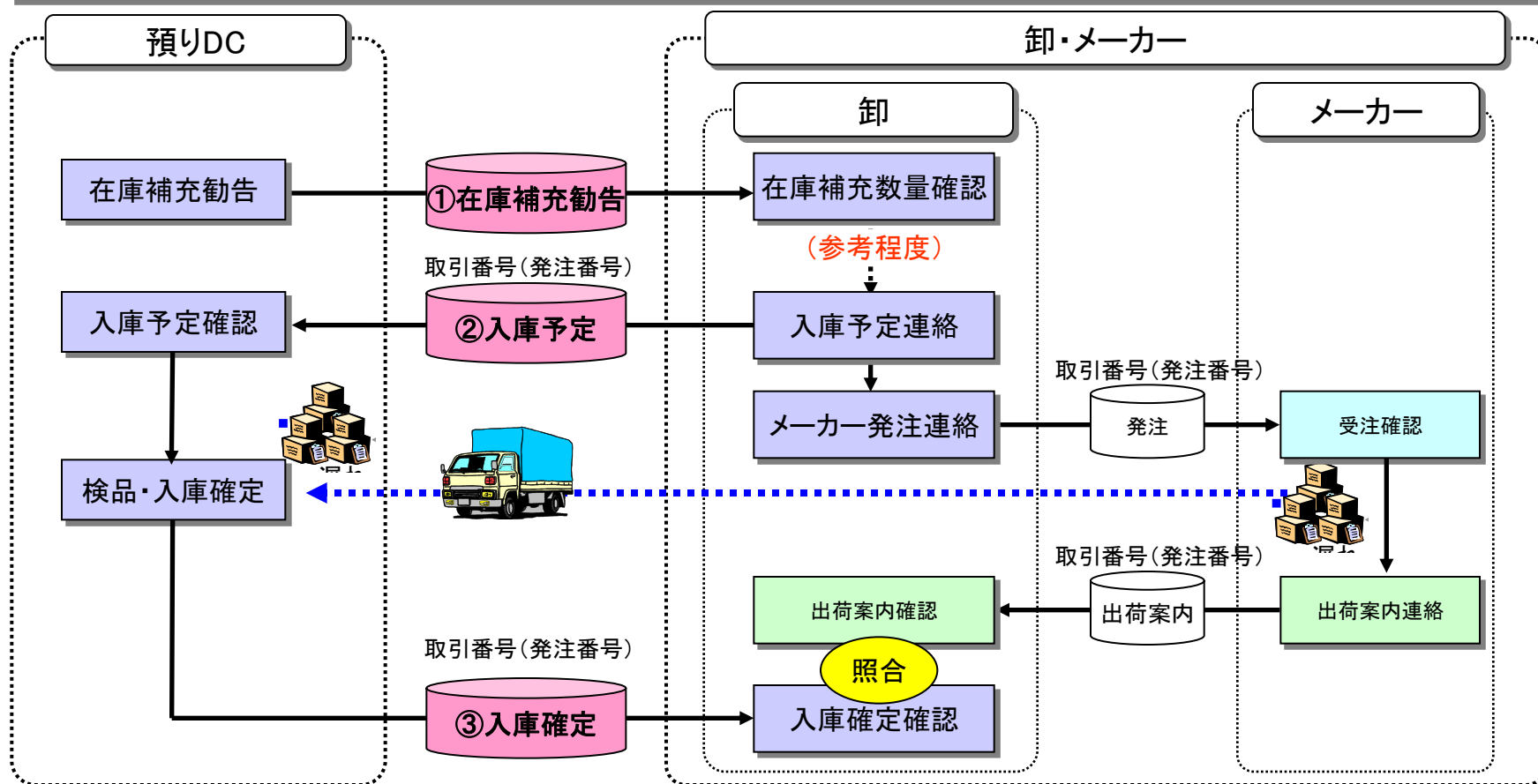
在庫管理に関わる指標例:1日平均出荷数、手持ち日数、次回入荷予定数量、次回入荷予定日、最終入荷日など

3. メッセージの基本定義とセット方法

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 1) 入庫プロセスの概要

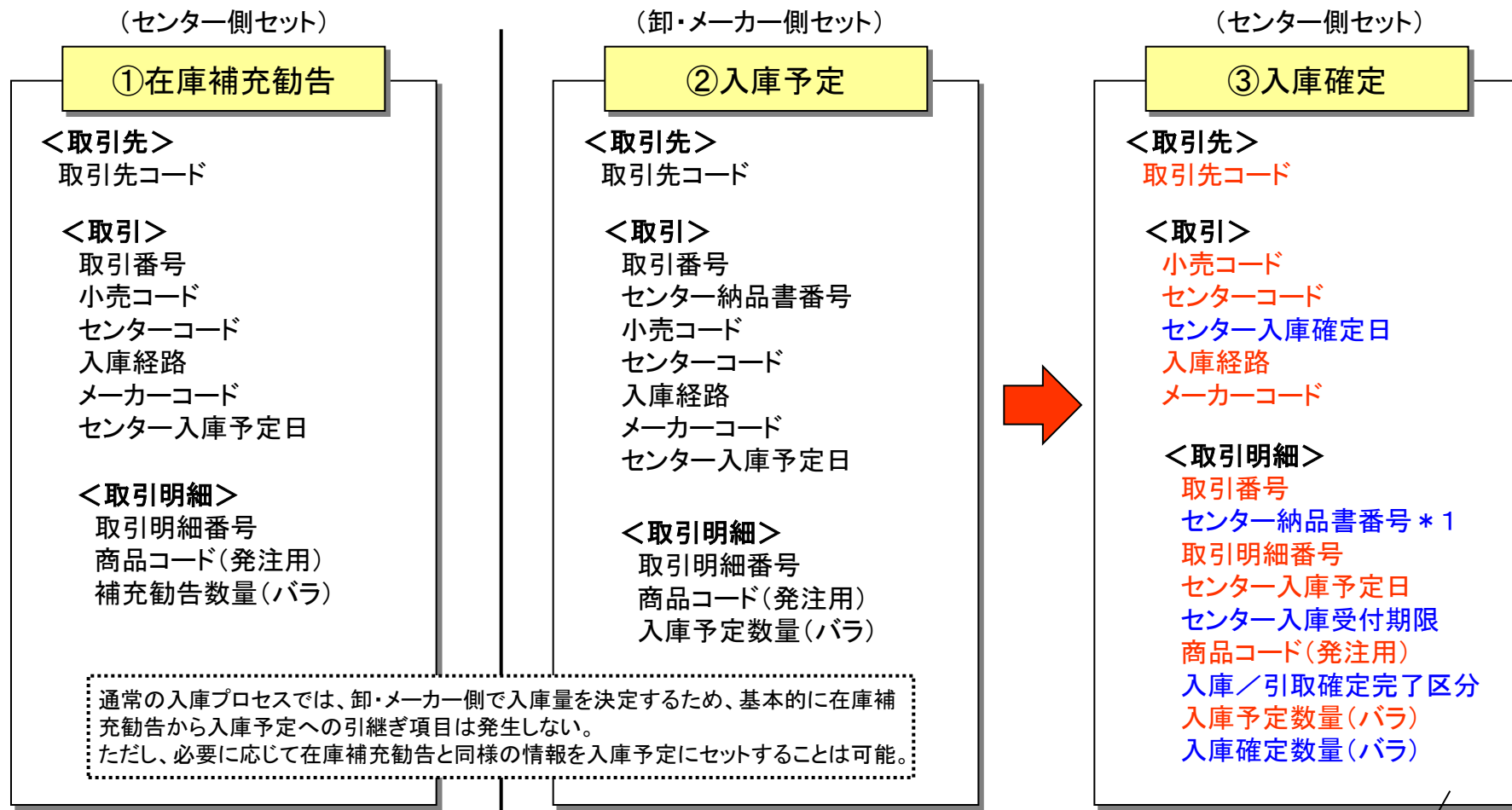
- ①センターは『在庫補充勧告メッセージ』を使用して、商品の補充依頼を卸に連絡する。
- ②卸は『在庫補充勧告メッセージ』の情報を参考に、センターに入庫する商品、入庫する予定日、入庫する予定数量などを『入庫予定メッセージ』を使用してセンターに連絡する。
(メーカーが直接センターに納品する場合、卸はセンターに入庫する商品をメーカーに発注する)
- ③センターは卸・メーカーから入庫されてきた商品を検品し、検品した数量を『入庫確定メッセージ』を使用して卸に連絡する。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 1) 入庫プロセスの概要

【入庫プロセスで使用する主なメッセージ項目の引継ぎ】



注) ■赤字は入庫予定メッセージからの引継項目
■青字は引継ぎがない項目(センター側で新たにセットする項目)

* 1 センター納品書番号は、実際に入庫された商品に添付されている納品書番号等をセットする

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 2) 在庫補充勧告メッセージ

① 在庫補充勧告メッセージの基本定義

「在庫補充勧告メッセージ」は、預り在庫型センターが適正在庫を維持するために、センターから卸・メーカーに在庫補充依頼を勧告するメッセージである。卸・メーカーは「在庫補充勧告メッセージ」の情報を参考に、センターへの入庫数量を決定する。

【補足】

卸・メーカーにおいてもセンターの入庫・出荷および在庫の状況を管理し把握している。そのため、「在庫補充勧告メッセージ」の情報は参考程度とし、卸・メーカー側でセンターへの入庫数量を決定しているケースが一般的である。したがって、在庫補充勧告で付番される取引番号で、入庫予定から入庫確定までの入庫プロセスの管理をおこなう必要はない。

ただし、センターと卸・メーカー間の取り決めで代行発注を適用している場合は、在庫補充勧告の取引番号を発注番号として使用する。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 2) 在庫補充勧告メッセージ

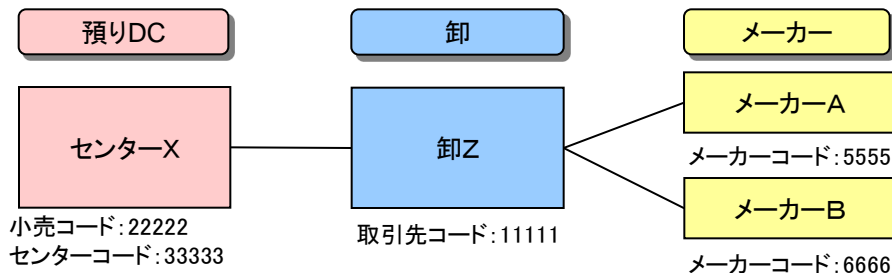
② 在庫補充勧告メッセージのセット方法(1/2)

以下に示す在庫補充勧告メッセージの使用例をもとに、具体的なセット方法を次ページに示す。

【在庫補充勧告メッセージの使用例】

センターXは卸Zと取引をおこなっているとする。

また、卸Zは、メーカーA、メーカーBと取引をおこなっているとする。



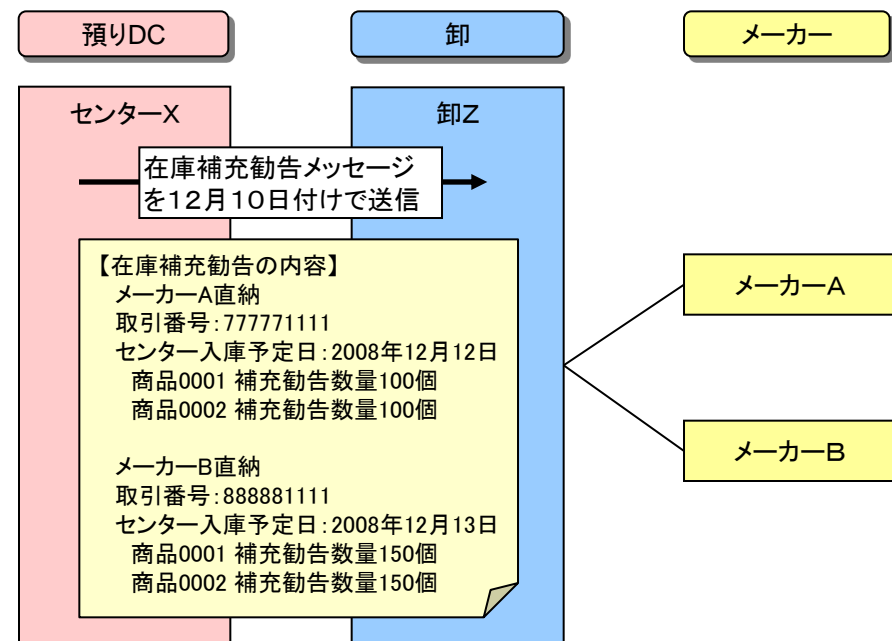
センターXは卸Zに以下の商品の補充を依頼するために、在庫補充勧告メッセージを使って連絡した。

メーカーA商品の補充依頼について

- ・入庫経路は、メーカー直接納品
- ・商品0001を100個補充(商品コードは495555001)
- ・商品0002を100個補充(商品コードは495555002)
- ・センター入庫予定日は12月12日
- ・取引番号777771111

メーカーB商品の補充依頼について

- ・入庫経路は、メーカー直接納品
- ・商品0001を150個補充(商品コードは496666001)
- ・商品0002を150個補充(商品コードは496666002)
- ・センター入庫予定日は12月13日
- ・取引番号888881111



3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス (2) 在庫補充勧告メッセージ

② 在庫補充勧告メッセージのセット方法(2/2)

前ページの在庫補充勧告メッセージの使用例より、センターXは在庫補充勧告メッセージを以下のようにセットする。

【在庫補充勧告メッセージのセット方法】

取引先									
取引先コード	取引								
	取引番号	小売コード	センターコード	入庫経路	メーカーコード	センター入庫予定日	取引明細		
							取引明細番号	商品コード(発注用)	補充勧告数量(バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	777771111	22222	33333	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	20081212	0001	495555001	100
							0002	495555002	100
	888881111	22222	33333	01 (メーカー入庫)	6666 (メーカーB)	20081213	0001	496666001	150
							0002	496666002	150

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 3) 入庫予定メッセージ

① 入庫予定メッセージの基本定義

在庫補充勧告メッセージの情報を参考に卸・メーカーで入庫数量を決定した後、『入庫予定メッセージ』を使用して、卸・メーカーからセンターに、入庫する商品、入庫予定日、入庫予定数量などを連絡する。また、取引番号と取引明細番号をキーとして入庫予定から入庫確定までの取引を管理する。

【メーカーの直接納品に関して】

商品の入庫に関しては、メーカーが直接センターに納品する形態が主であり、そのプロセスは以下のとおりである。

卸は「入庫予定メッセージ」を使ってセンターに入庫する商品、入庫予定日、入庫予定数量などを連絡し、センターに入庫する商品をメーカーに発注する。

メーカーは卸からの発注を受け、センターに直接納品をおこなう。また、メーカーはセンターに納品した旨を出荷案内メッセージなどを使って卸に連絡する。

なお、メーカーからの直接納品に対してセンターが検品をおこなう際には、納品時の送り状などに記載されている『発注番号』をキーとして入庫予定メッセージを特定し、その入庫予定情報と突き合わせて検品をおこなう。そのため、入庫予定メッセージの取引番号は、卸がメーカーに発注する『発注番号』と同様の番号をセットする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 3) 入庫予定メッセージ

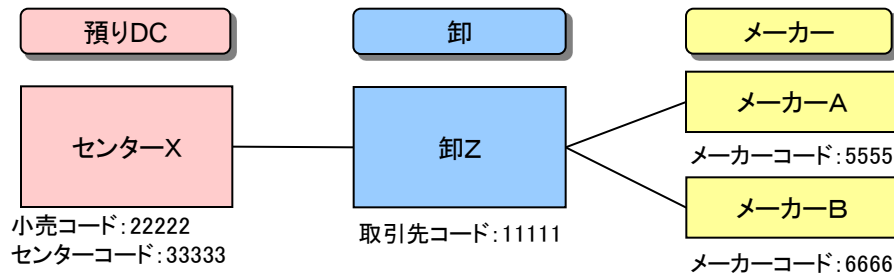
② 入庫予定メッセージのセット方法(1/2)

以下に示す入庫予定メッセージの使用例をもとに、具体的なセット方法を次ページに示す。

【入庫予定メッセージの使用例】

前述と同様に、センターXは卸Zと取引をおこなっているとする。

また、卸Zは、メーカーA、メーカーBと取引をおこなっているとする。



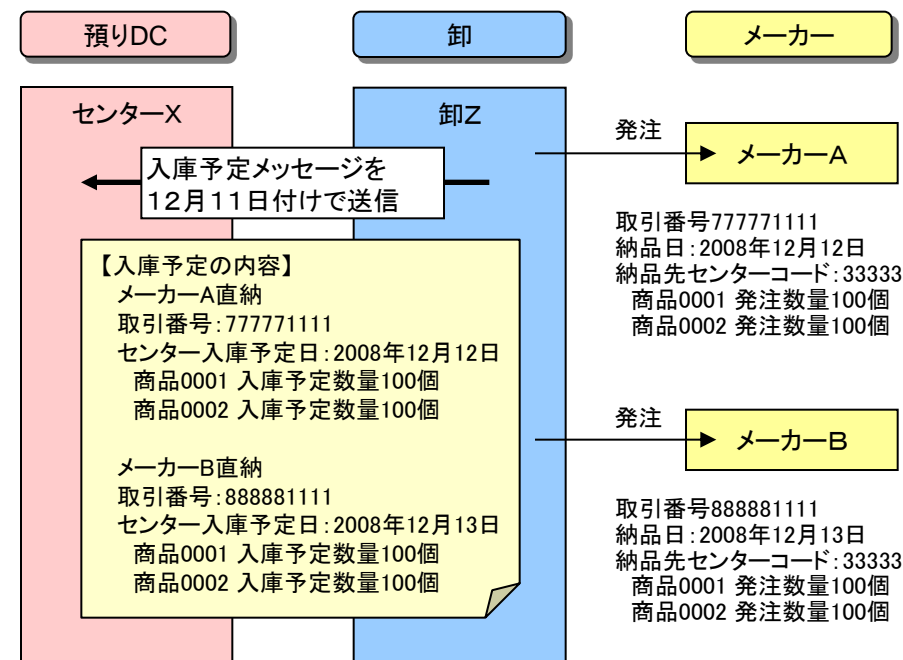
前述の在庫補充勧告の情報を参考に、卸ZはセンターXに以下の商品の入庫をおこなうために、入庫予定メッセージを使って連絡した。(また、卸はメーカーに対して入庫商品の発注をおこなった)

メーカーA商品の入庫について

- ・入庫経路は、メーカー直接納品
- ・商品0001を100個入庫(商品コードは495555001)
- ・商品0002を100個入庫(商品コードは495555002)
- ・センター入庫予定日は12月12日
- ・取引番号777771111

メーカーB商品の入庫について

- ・入庫経路は、メーカー直接納品
- ・商品0001を100個入庫(商品コードは496666001)
- ・商品0002を100個入庫(商品コードは496666002)
- ・センター入庫予定日は12月13日
- ・取引番号888881111



3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 3) 入庫予定メッセージ

② 入庫予定メッセージのセット方法(2/2)

前ページの入庫予定メッセージの使用例より、卸Zは入庫予定メッセージを以下のようにセットする。

【入庫予定メッセージのセット方法】

取引先										
取引先 コード	入庫／取引 区分	取引								
		取引番号	小売 コード	センター コード	入庫経路	メーカー コード	センター 入庫予定日	取引明細		
								取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫予定 数量(バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	777771111	22222	33333	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	20081212	0001	495555001	100
								0002	495555002	100
		888881111	22222	33333	01 (メーカー入庫)	6666 (メーカーB)	20081213	0001	496666001	100
								0002	496666002	100

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

① 入庫確定メッセージの基本定義

センターは卸・メーカーから納品されてきた商品を検品し、検品した数量を「入庫確定メッセージ」を使用して卸・メーカーに連絡する。また、前述のとおり、取引番号と取引明細番号をキーとして入庫予定から入庫確定までの取引を管理する。

なお、卸・メーカーのセンターへの納品においては、「入庫予定メッセージ」で連絡した内容(予定数量、予定入庫日など)どおりではない場合もある。具体的には、以下のとおり。

- ① 入庫予定数量よりも不足している場合
- ② 入庫予定日より遅れる場合
- ③ 納品されない場合
- ④ 分納で納品される場合

上記のようなケースに対応するため、「入庫確定メッセージ」を使用する際の留意点を次ページに示す。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス (4) 入庫確定メッセージ

「入庫確定メッセージ」を使用する際の留意点

1. 前提条件

- ・入庫確定メッセージは、原則、入庫予定メッセージでセットされた項目を引継ぐ。
(センター納品書番号がセットされていれば、基本的に当該データも引き継ぐ。)

2. 使い方

- ・センターは当日入庫検品したすべての商品の結果を、入庫確定メッセージの所定の項目にセットして、当日入庫を確定した分として、原則、毎日定時に卸へ送信する。
- ・入庫予定通りに全て確定されることが望ましいが、日を跨ぐ分納や、数量不足などのケースが発生した場合は、以下の方法でセットをおこなう。

3. 項目のセット方法

(1) センター入庫確定日

- ・入庫検品をおこなった年月日をセットする。

(2) 入庫／引取確定完了区分

- ①『センター入庫受付期限』までに予定数量どおりに入庫された商品は『入庫／引取確定完了区分』に「01. 確定完了」をセットする。
- ②①で予定数量どおりに入庫された商品は、その日以降、入庫受付期限に達していても、当該商品の入庫確定メッセージは送付しない。
- ③入庫受付期限の日に予定数量どおりに達しなかった場合でも、『入庫／引取確定完了区分』に「01. 確定完了」をセットし、当日の検品結果(確定数量がゼロもありえる)を卸に送信し、その日をもって該当商品の入庫確定メッセージは送付しない。

(3) 入庫確定数量(バラ)

- ①当日入庫検品した数量を、『入庫確定数量(バラ)』にセットする。
- ②入庫受付期限の日以前に、入庫された数量が予定数量どおりに達していない場合は、当日入庫検品した数量(確定数量がゼロもありえる)をセットするとともに、『入庫／引取確定完了区分』に予定数量どおりに達していない旨の「02. 未確定」をセットする。

(4) センター入庫受付期限

- ・卸が入庫予定メッセージでセットした入庫予定日以降に入庫される商品の受付を許容する日数または期限日。入庫受付期限は相対で取り決める。

入庫確定メッセージ項目

【取引ヘッダー】(キー項目のみ記載)

取引先コード(必須)

入庫／引取区分(必須)

小売コード(必須)

センターコード(必須)

(1) センター入庫確定日(必須)

入庫経路(任意)

メーカーコード(任意)

【取引明細】(キー項目のみ記載)

取引番号(必須)

センター納品番号(任意)

センター入庫予定日(必須)

(4) センター入庫受付期限(任意)

取引明細番号(必須)

商品コード(必須)

(2) 入庫／引取確定完了区分(必須)

入庫予定数量バラ(必須)

(3) 入庫確定数量バラ(必須)

は、入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

は、センター側でセットする項目

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

② 入庫確定メッセージのセット方法

ここでは、前述の入庫予定メッセージを引き継ぐこととし、2008年12月12日、13日、14日の3日間におけるメーカーのセンターへの入庫例を示しながら、入庫確定メッセージのセット方法を次ページに示す。

なお、3日間の入庫例による入庫確定メッセージのセット方法でポイントなる事項は以下のとおり。

「2008年12月12日」のメーカーの入庫例

※分納で納品された場合

当日に取引明細番号の同じ商品が分納で入庫された場合のセット方法について

※入庫予定数量よりも不足して納品された場合

当日に入庫予定数量よりも不足して入庫された場合のセット方法について

「2008年12月13日」のメーカーの入庫例

※入庫予定日より遅れて納品された場合

受付期限の日までに入庫予定数量どおりに達した場合のセット方法について

※納品されない場合

当日に入庫がない場合のセット方法について

「2008年12月14日」のメーカーの入庫例

※入庫予定数量よりも不足して納品された場合

受付期限の日までに入庫予定数量どおりに達しなかった場合のセット方法について

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

【例1:「2008年12月12日」のメーカーの入庫例】

※分納で納品された場合

当日に取引明細番号の同じ商品が分納で入庫された場合のセット方法について

※入庫予定数量よりも不足して納品された場合

当日に入庫予定数量よりも不足して入庫された場合のセット方法について

卸からのセンター入庫への発注連絡を受け、メーカーAは、『2008年12月12日』に、センターに以下のような入庫をおこなったとする。

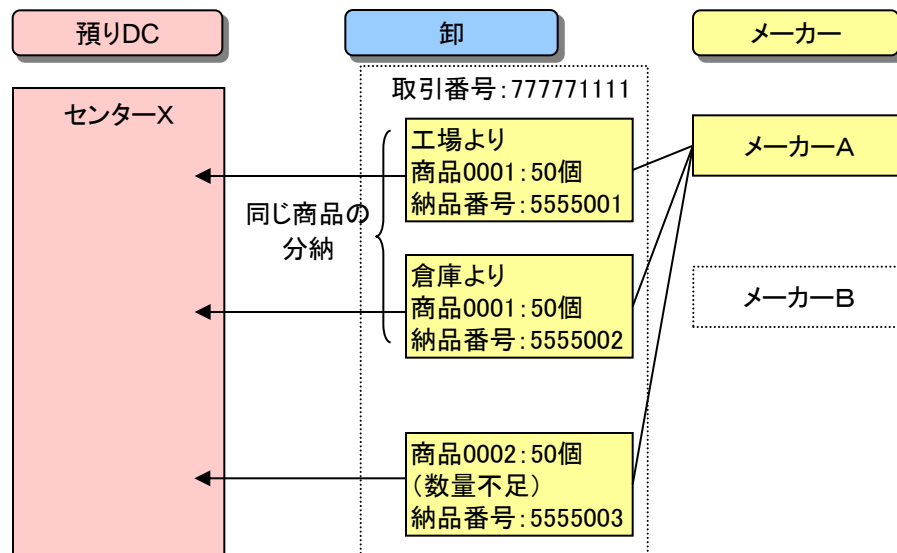
【メーカーAの入庫について】

商品0001について

工場から50個、倉庫から50個の分納で当日計100個を入庫。予定日(2008年12月12日)に予定数量(100個)どおり入庫を完了した。

商品0002について

当日50個を入庫。予定数量(100個)よりも50個不足して入庫した。



* センターと卸との取り決めで、メーカーA商品の入庫受付期限を2008年12月13日(入庫予定日+1日)までとする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

前ページの「2008年12月12日」のメーカーの入庫例より、センターXは入庫確定メッセージを以下のようにセットする。

【入庫確定メッセージのセット例その1】

入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

センター側でセットする項目

取引先																
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引					取引明細									
		小売 コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付期 限	取引明細 番号	商品 コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)	
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081212	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	777771111		20081212	20081213	0001	495555001	01 (確定完了)	100	100	
							777771111		20081212	20081213	0002	495555002	02 (未確定)	100	50	

センター側でセットする項目	セットをおこなうにあたっての留意点
①センター入庫確定日	入庫検品をおこなった年月日(2008年12月12日→「20081212」)をセットする。
②センター納品番号	同日に、取引明細番号の同じ商品が分納で入庫された商品について、取引明細をサマリーにしてセット。(この場合、センター納品書番号のセットは不要)
③センター入庫受付期限	入庫受付期限年月日あるいは、入庫受付期限許容日をセットする。
④入庫(引取)確定完了区分	<ul style="list-style-type: none"> 分納で入庫されたメーカーAの取引明細0001の商品は、入庫予定数量(100個)どおりに達したため『01 確定完了』をセットする。 取引明細0002の商品は、入庫予定数量(100個)どおりに入庫されていないため、『02 未確定』をセット。
⑤入庫確定数量(バラ)	当日入庫検品した数量をセットする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

同日に同商品が分納で入庫された場合、入庫確定メッセージをセット例その2のようにセットすることも可能。

【入庫確定メッセージのセット例その1】

入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

センター側でセットする項目

取引先															
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引													
		小売 コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引明細								
							取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品 コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081212	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	777771111		20081212	20081213	0001	495555001	01 (確定完了)	100	100
							777771111		20081212	20081213	0002	495555002	02 (未確定)	100	50

同日に、取引明細番号の同じ商品が分納で入庫された場合、それぞれ分納された同一商品にセンター納品書番号を入力し、例2のようにセットすることも可能。

ただしこの場合、分納で入庫されたメーカーAの取引明細0001の商品は、当日、最初の入庫分(50個)には『02 未確定』をセットし、次の入庫分(50個)で入庫予定数量(100個)どおりに達した旨の『01 確定完了』をセットする。

【入庫確定メッセージのセット例その2】

入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

センター側でセットする項目

取引先															
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引													
		小売 コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引明細								
							取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品 コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081212	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	777771111	5555001	20081212	20081213	0001	495555001	02 (未確定)	100	50
							777771111	5555002	20081212	20081213	0001	495555001	01 (確定完了)	100	50
							777771111		20081212	20081213	0002	495555002	02 (未確定)	100	50

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

【例2:「2008年12月13日」のメーカーの入庫例】

※入庫予定日より遅れて納品された場合

受付期限の日までに入庫予定数量どおりに達した場合のセット方法について

※納品されない場合

当日に入庫がない場合のセット方法について

メーカーAおよびメーカーBは『2008年12月13日』に、センターに以下のような入庫をおこなったとする。

【メーカーAの入庫について】

商品0001について

2008年12月12日に予定数量どおり入庫し、確定完了。

商品0002について

予定数量の不足分を50個入庫。

入庫受付期限までに予定数量(100個)どおりに達した。

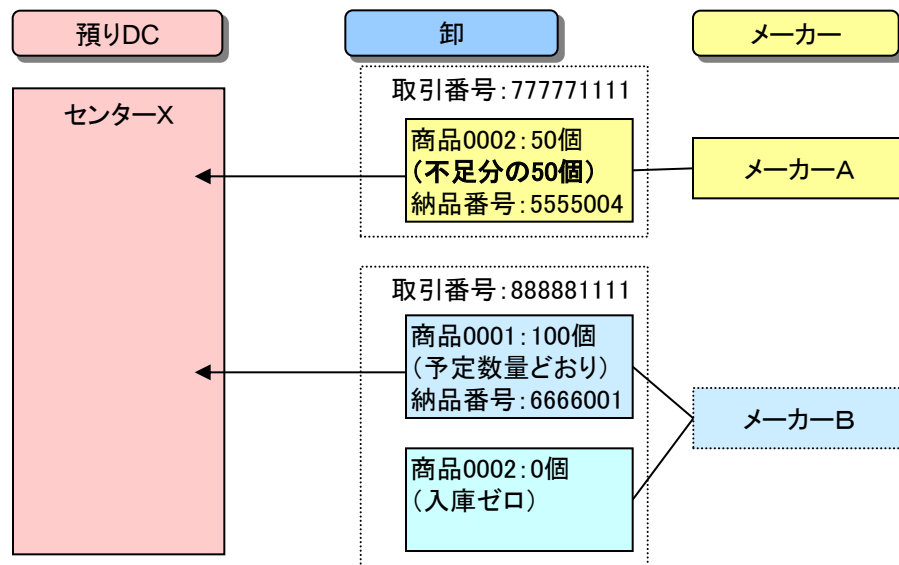
【メーカーBの入庫について】

商品0001について

当日100個を入庫し、予定日(2008年12月13日)に予定数量(100個)どおり入庫を完了した。

商品0002について

当日入庫なし。(予定数量は100個)



* センターと卸との取り決めで、
メーカーA商品の入庫受付期限を2008年12月13日(入庫予定日+1日)までとする。
メーカーB商品の入庫受付期限を2008年12月14日(入庫予定日+1日)までとする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

前ページの「2008年12月13日」のメーカーの入庫例より、センターXは入庫確定メッセージを以下のようにセットする。

【入庫確定メッセージのセット例】

入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

センター側でセットする項目

取引先																		
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引					取引明細											
		小売 コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引番号	②			③			④			⑤	
								センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)			
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】		
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081213	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカー-A)	777771111	すでに確定完了となった商品の情報は送付しない								100	100	
					01 (メーカー入庫)	6666 (メーカー-B)	888881111		20081213	20081214	0001	496666001	01 (確定完了)	100	100			
							888881111		20081213	20081214	0002	496666002	02 (未確定)	100				

センター側でセットする項目	セットをおこなうにあたっての留意点
①センター入庫確定日	入庫検品をおこなった年月日(2008年12月13日→「20081213」)をセットする。
②センター納品番号	セット不要。
③センター入庫受付期限	入庫受付期限年月日あるいは、入庫受付期限許容日をセットする。
④入庫(引取)確定完了区分	<ul style="list-style-type: none"> ・2008年12月12日に確定完了となったメーカーA取引明細0001の入庫情報は送付しない。 ・メーカーA取引明細0001の商品は、入庫受付期限までに予定数量(100個)どおりに達したため『確定完了』をセット。 ・メーカーB取引明細0001の商品は、予定日に入庫予定数量どおり入庫したため『確定完了』をセット。 ・メーカーB取引明細0002の商品は、入庫予定数量どおりに入庫されていないため、『02 未確定』をセット。 <p>* 入庫受付期限の日以前に入庫がない場合、入庫ゼロの情報を送付するかどうかは相対で取り決める。</p>
⑤入庫確定数量(バラ)	当日入庫検品した数量をセットする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

【例3:「2008年12月14日」のメーカーの入庫例】

※入庫予定数量よりも不足して納品された場合

受付期限の日までに入庫予定数量どおりに達しなかった場合のセット方法について

メーカーBは『2008年12月14日』に、
センターに以下のような入庫をおこなったとする。

【メーカーAの入庫について】

商品0001について

2008年12月12日に予定数量どおり入庫し、確定完了。

商品0002について

2008年12月13日に予定数量どおりに達し、確定完了。

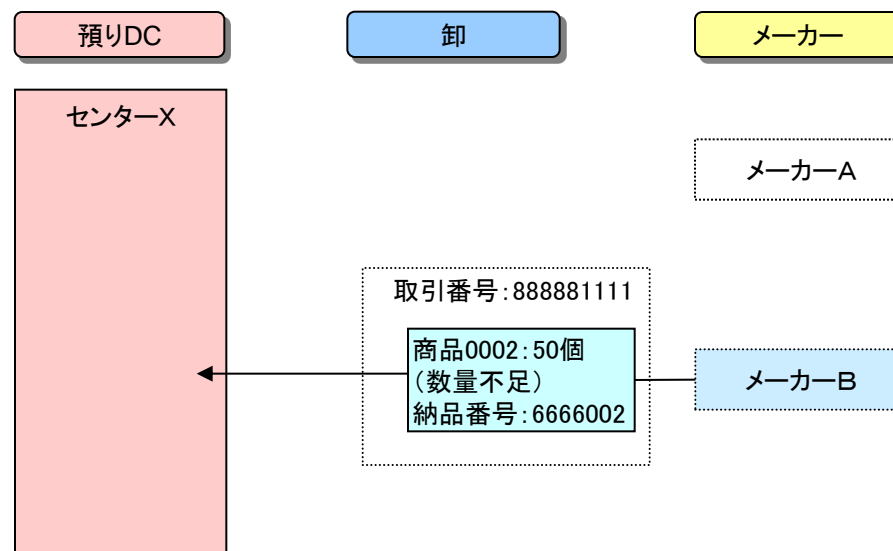
【メーカーBの入庫について】

商品0001について

2008年12月13日に予定数量どおり入庫し、確定完了。

商品0002について

当日50個を入庫。ただし、入庫受付期限までに予定数量(100個)に達していない。



* センターと卸との取り決めで、
メーカーA商品の入庫受付期限を2008年12月13日(入庫予定日+1日)までとする。
メーカーB商品の入庫受付期限を2008年12月14日(入庫予定日+1日)までとする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 4) 入庫確定メッセージ

前ページの「2008年12月14日」のメーカーの入庫例より、センターXは入庫確定メッセージを以下のようにセットする。

【入庫確定メッセージのセット例】

入庫予定メッセージからの引継ぎ項目

センター側でセットする項目

取引先															
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引					取引明細								
		小売コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	②			③			④		⑤
							取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081214	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	7777	すでに確定完了となった商品の情報は送付しない				001	01	100	100
							7777	すでに確定完了となった商品の情報は送付しない				002	01	100	50
					01 (メーカー入庫)	6666 (メーカーB)	8888	すでに確定完了となった商品の情報は送付しない				001	01	100	100
							888881111		20081213	20081214	0002	496666002	01	100	50

センター側でセットする項目	セットをおこなうにあたっての留意点
①センター入庫確定日	入庫検品をおこなった年月日(2008年12月14日→「20081214」)をセットする。
②センター納品番号	セット不要。
③センター入庫受付期限	入庫受付期限年月日あるいは、入庫受付期限許容日をセットする。
④入庫(引取)確定完了区分	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに確定完了となったメーカーA取引明細0001、取引番号0002、メーカーB取引番号0001の入庫情報は送付しない。 ・メーカーB取引明細0002の商品は予定数量どおりに達していないが(不足50個)、入庫受付期限の日となったため、当該商品の入庫の受付を終了する旨の『01 確定完了』をセットする。
⑤入庫確定数量(バラ)	当日入庫検品した数量をセットする。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 5) 代行発注について

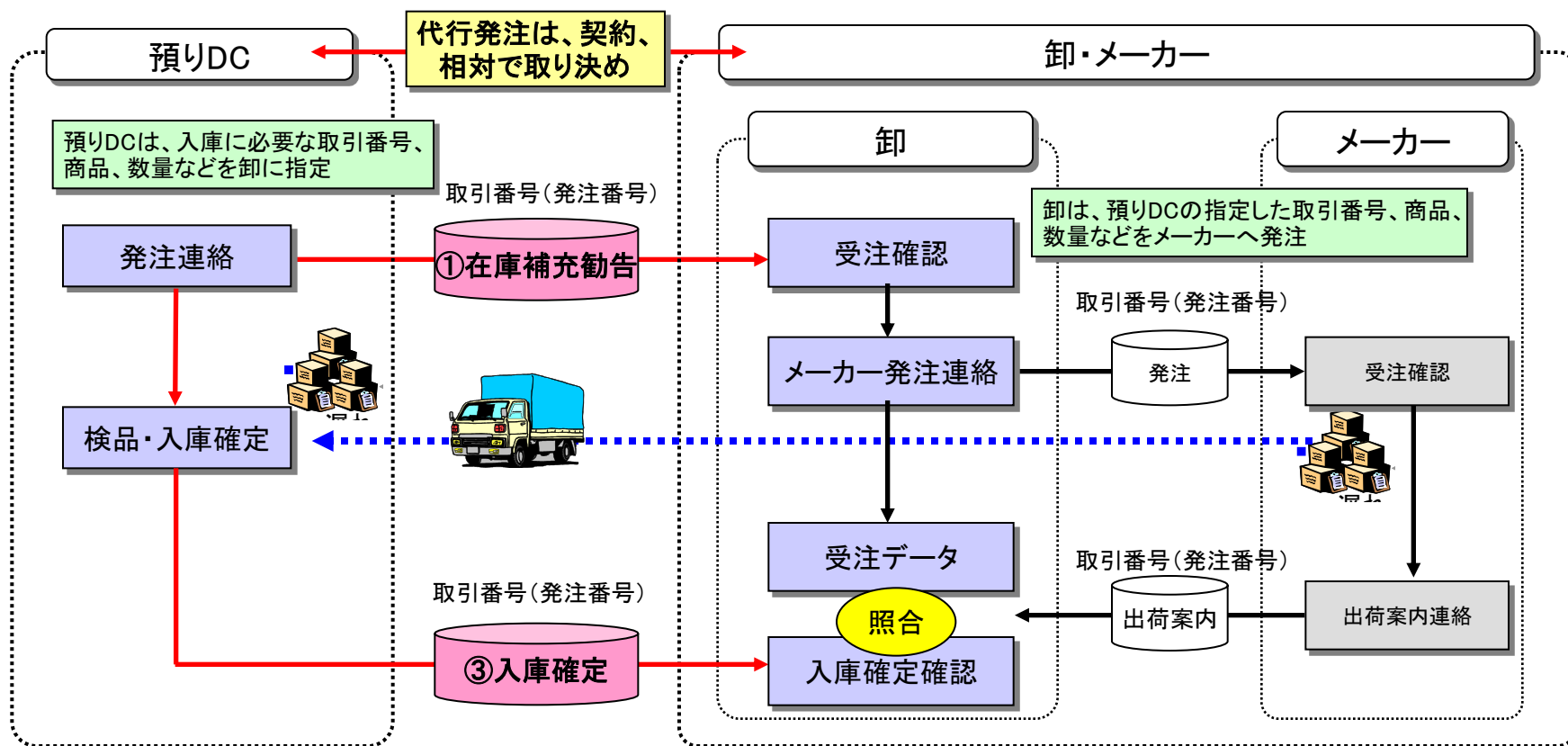
① 代行発注の基本定義

グロサリー分野における預りDCによる代行発注は、下図のプロセスが一般的である。

※ここでいう代行発注とは、「預りDCの指定した取引番号、商品、数量などに基づいて、卸・メーカーは預りDCに入庫をおこなう」ものである。代行発注をおこなう際には、預りDC・卸間で契約、あるいは相対で取り決める。

※預りDCは取引番号と入庫に必要な情報を卸に送信、卸は預りDCの取引番号を引き継いで、メーカーに発注する。

※したがって代行発注プロセスにおいても、「在庫補充勧告メッセージにある『取引番号』」を利用することで対応する。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 5) 代行発注について

② 代行発注をおこなう場合のメッセージのセット方法(1/3)

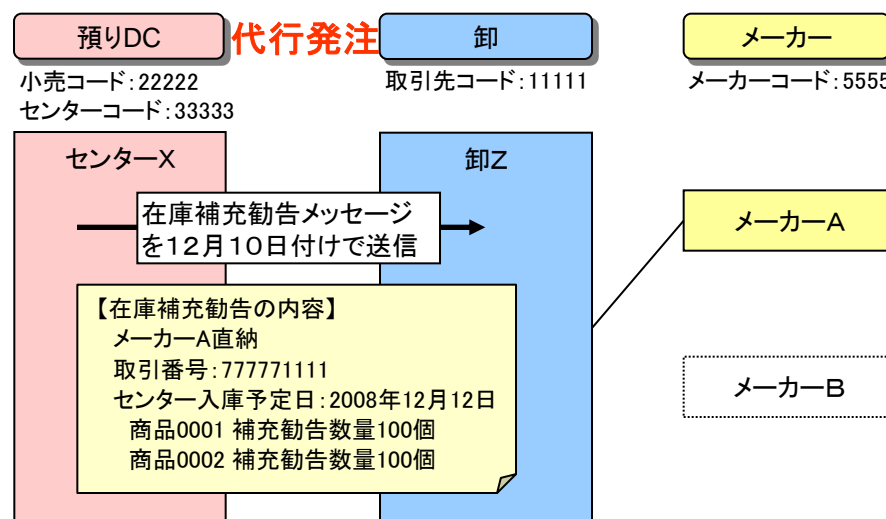
以下に示す代行発注の例をもとに、センターが在庫補充勧告と入庫確定メッセージを使用してセット方法を次ページに示す。

【代行発注の例】

センターXは卸Zに以下の商品の発注を依頼するために、在庫補充勧告メッセージを使用して連絡した。
卸ZはメーカーAに発注をおこない、メーカーAは、発注依頼どおりセンターXに商品を入庫した。
センターXは入庫確定メッセージを使用して入庫検品した結果を卸Zに連絡した。

卸Zへの発注依頼について

- ・発注メーカーはA社
- ・入庫経路は、メーカーA直接納品
- ・商品0001を100個補充(商品コードは495555001)
- ・商品0002を100個補充(商品コードは495555002)
- ・センター入庫予定日は12月12日
- ・取引番号777771111



3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス 5) 代行発注について

② 代行発注をおこなう場合のメッセージのセット方法(2/3)

代行発注をおこなう場合、センターXは在庫補充勧告と入庫確定メッセージを以下のようにセットする。

【在庫補充勧告メッセージのセット例】

取引先									
取引先コード	取引						取引明細		
	取引番号	小売コード	センターコード	入庫経路	メーカーコード	センター 入庫予定日	取引明細 番号	商品コード (発注用)	補充勧告 数量(バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	777771111	22222	33333	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	20081212	0001	495555001	100
							0002	495555002	100

【入庫確定メッセージのセット例】

在庫補充勧告メッセージから引き継ぐ項目 センター側でセットする項目

取引先															
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引					取引明細								
		小売コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081212	01 (メーカー入庫)	5555 (メーカーA)	777771111		20081212		0001	495555001	01 (確定完了)	100	100
							777771111		20081212		0002	495555002	01 (確定完了)	100	100

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス ご参考: 緊急入庫が発生した場合の運用とセット方法

緊急入庫が発生した場合の運用とセット方法

卸・メーカーがセンターに入庫する際には、あらかじめ入庫予定メッセージをセンターに送信していることが原則である。

しかしながら、緊急を要する入庫が必要となり、入庫予定メッセージを送信することが間に合わない場合には、センターは入庫確定メッセージを使用して以下の要領で対応することもできる。

【緊急入庫において「入庫確定メッセージ」を使用する際の留意点】

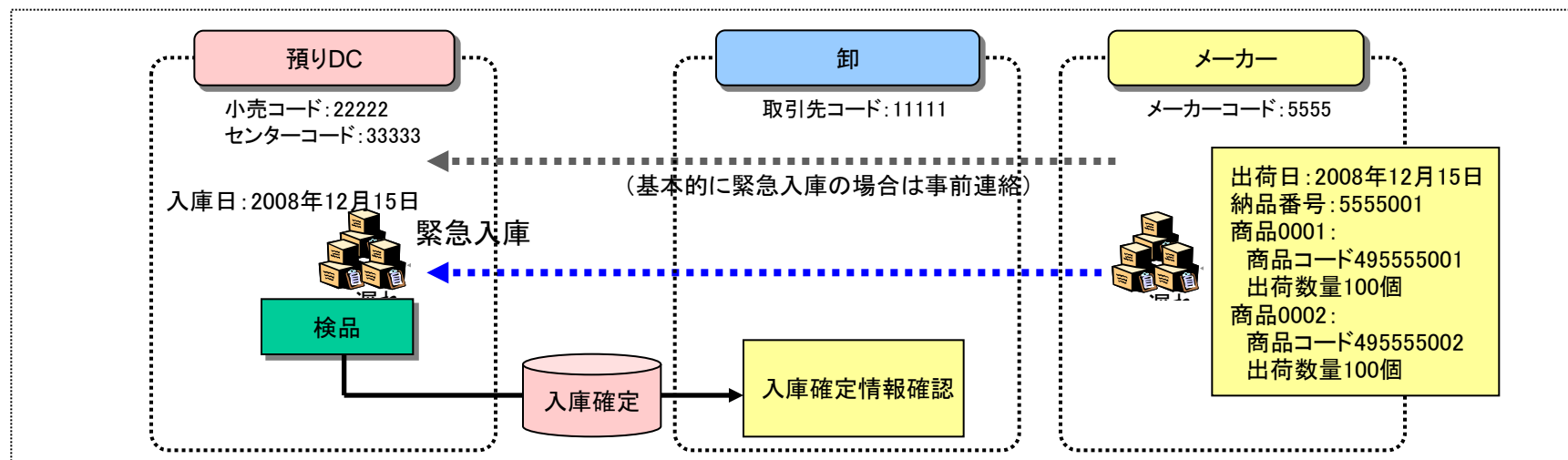
- 緊急入庫が発生した場合、センターは検品結果に基づいて、入庫確定メッセージを卸に送信する。
- 入庫確定メッセージを作成するにあたり、原則として、入庫確定メッセージの必須項目には必ずデータをセットする。
- ただし、入庫予定メッセージから引き継いでいる必須項目でセットできない項目(入庫予定日、入庫予定数量)には「ゼロ」をセットする。
- 必須項目であり、メッセージの管理番号となっている取引番号と取引明細番号のセット方法については、センター／卸・メーカー間で取り決める。
- なお、入庫商品に添付されている納品書の番号で管理する場合は『センター納品書番号』項目にセットする(相対で取り決める)。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(1) 入庫プロセス ご参考: 緊急入庫が発生した場合の運用とセット方法

緊急入庫の例をもとに、入庫確定メッセージをセット方法を示す。

【緊急入庫の例】



【緊急入庫における入庫確定メッセージのセット方法】

取引先															
取引先 コード	入庫/取引 区分	取引					取引明細								
		小売コード	センター コード	センター 入庫確定日	入庫経路	メーカー コード	取引番号	センター 納品番号	センター 入庫予定日	センター 入庫受付 期限	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫確定 完了区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【任意】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	01 (入庫)	22222	33333	20081215			* 1		00000000 (ゼロをセット)		* 1	495555001	01 (確定完了)	0 (ゼロをセット)	100
							* 1		00000000 (ゼロをセット)		* 1	495555002	01 (確定完了)	0 (ゼロをセット)	100

* 赤字の項目は、必ずセットが必要。

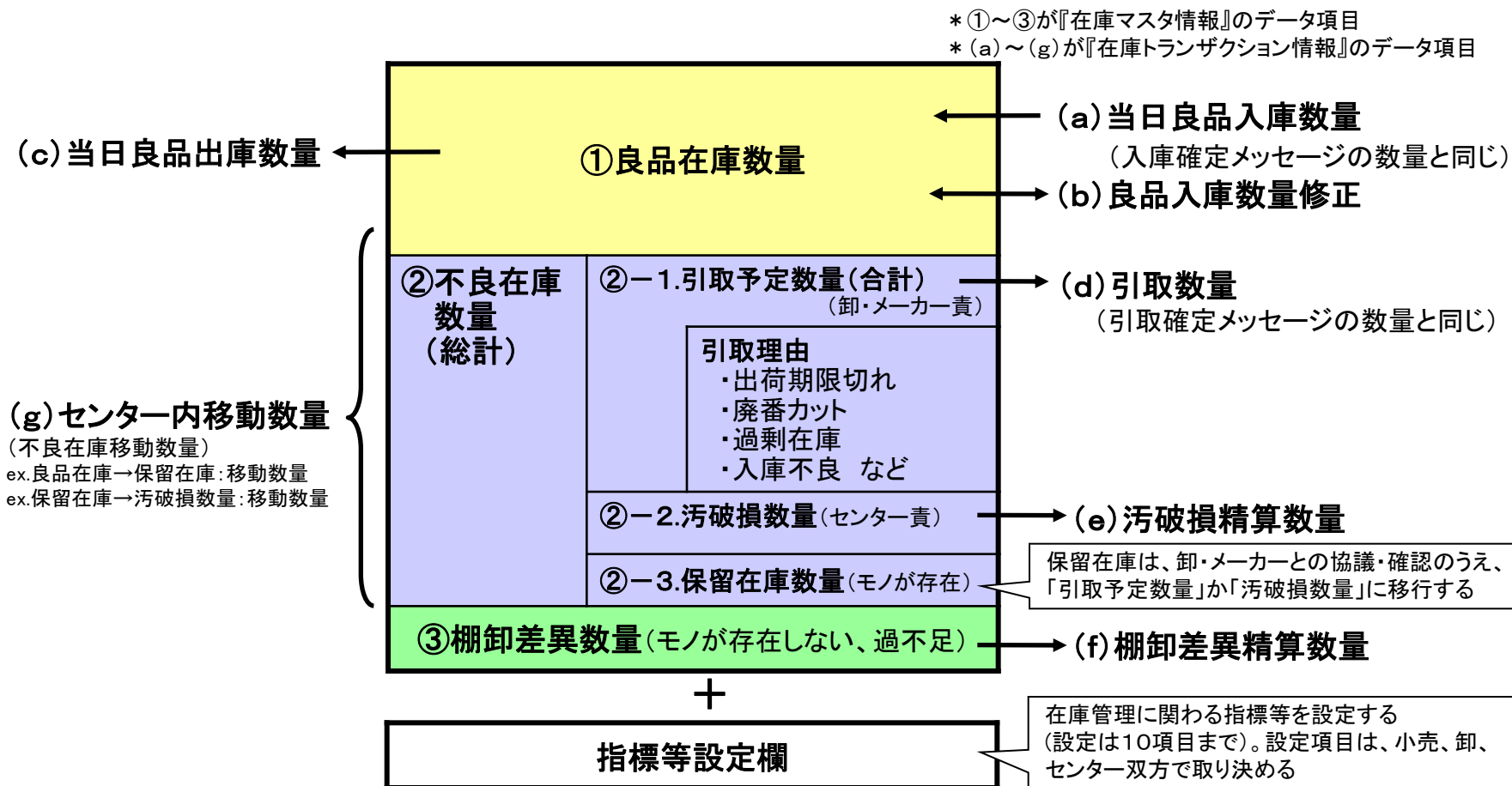
* 1: 取引番号と取引明細番号のセット内容については、センター／卸・メーカー間で取り決める。

* グレーの網がけの部分については、データをセットするかどうか、センター／卸・メーカー間で取り決める。

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 1)在庫報告プロセスの概要

在庫報告メッセージは、帳簿上の在庫状況を明らかにするために、センター内の良品在庫、不良在庫などのストック情報を管理・報告する『在庫マスタ情報』と、良品在庫の入在庫、不良在庫などの引取や精算といった、センター内の総在庫が日々変動する情報を管理・報告する『在庫トランザクション情報』の2つの在庫情報を使用する。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 2)在庫マスタ情報

①在庫マスタ情報の基本定義

在庫マスタ情報は、センターが卸・メーカーに対して、当日の入出庫作業完了後、「本日時点※1で存在する各商品の在庫状況を報告する」ためのメッセージであり、下記の①、②、③のデータ項目を基本とする。

項目	意味
①良品在庫数量 【必須】	センターで確認された引当可能な在庫(良品在庫) 出荷予定数を含めない。当日の出荷・入庫等の合計を計算後の当日確定在庫数とする。また、総在庫数から「不良在庫数量(総計)」と「棚卸差異数量」を引いた『良品在庫数量』を表す。
②不良在庫数量(総計) 【必須】	センター内で確認された不良在庫の総計 在庫日時時点の「不良在庫数量(総計)」。不良在庫としてモノが存在することを前提とする。 不良在庫数量(総計)＝引取予定数量(合計)＋汚破損数量＋保留在庫数量
②－1. 引取予定数量(合計) (卸・メーカー責の不良在庫) 【任意】	センター内引取品によるベンダー回収用在庫数量 保管中に在庫期限が切れた商品、廃番カット商品、過剰在庫などの不良在庫において、卸が引き取る在庫が発生した合計数量を報告する。卸が引き取るまで、その「引取予定数量(合計)」は次の日も維持される。
②－2. 汚破損等数量 (センター責の不良在庫) 【任意】	センター責の不良在庫数量 汚破損等センター責の在庫が発生した数量を報告する。 センター側と卸側とで協議の上、その在庫が精算されるまで「汚破損数量」は次の日も維持される。
②－3. 保留在庫数量 【任意】	不良在庫を一時的に保留する 不良在庫が発生した場合、不良在庫の処分方法が決まるまでの間、一時的に保留在庫に移行する。保留在庫の内容・清算タイミングは、卸・メーカーとの協議・確認のうえ決定し、在庫清算時まで「引取予定数量(合計)」か「汚破損等数量」に移行するものとする。
③棚卸差異数量 【必須】	■実棚数量－帳簿在庫＝棚卸差異数量 (帳簿在庫＞実棚数量のときは－、帳簿在庫≤実棚数量ときは＋を符号項目に必ずセットする) 在庫日時時点での帳簿在庫と実棚数量との差異数。調査・精算が完了するまで、この「棚卸差異数量」として管理を行う。処理方法については、別途契約で取り決めた方法に従う。

※1: 本日時点のタイミングはセンター個別に取り決めることとする。

棚卸差異数量以外は現物が存在するため、マイナスは発生しない

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 2)在庫マスタ情報

【良品在庫から不良在庫と棚卸差異が発生した場合の処理の流れの一例】

【不良在庫が発生した場合】

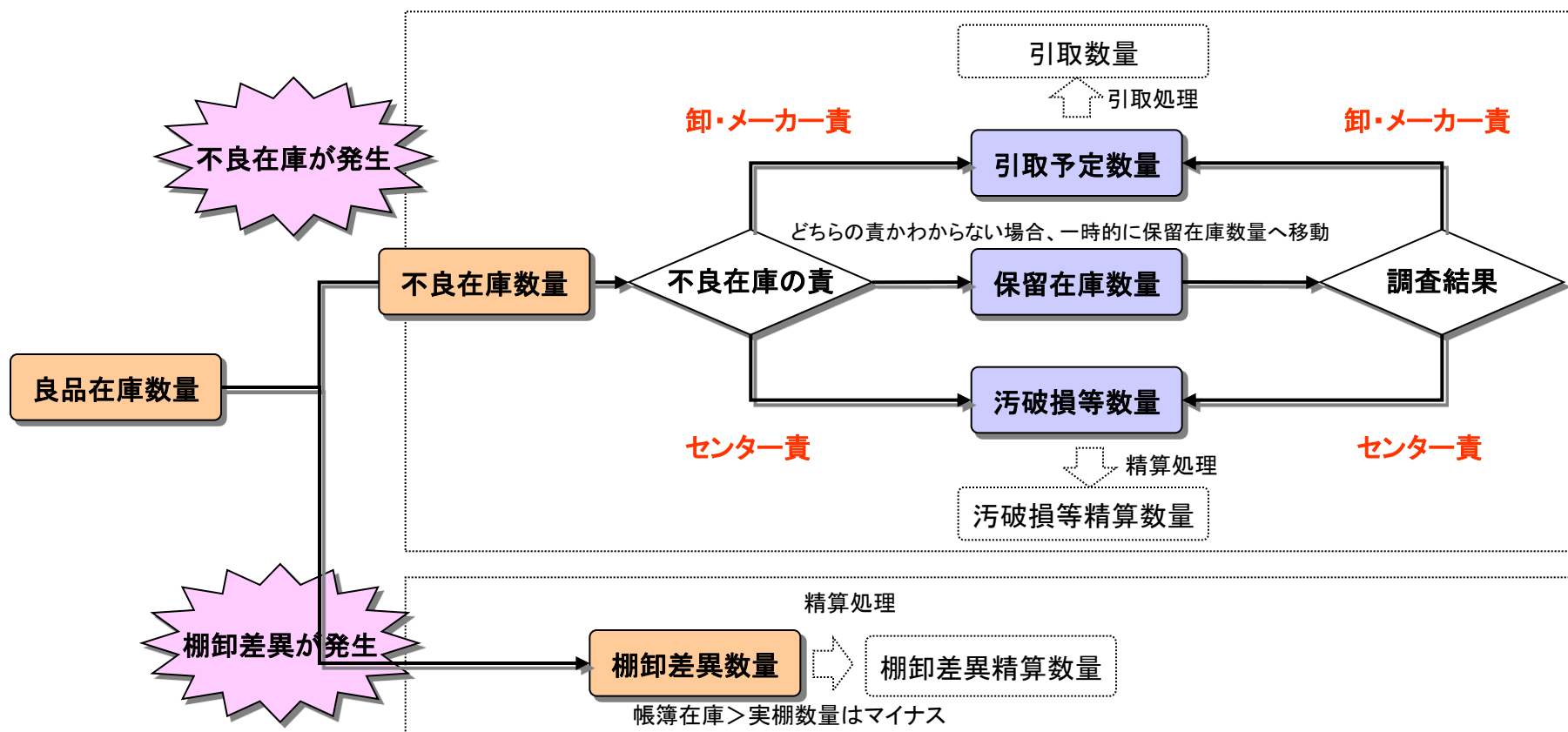
良品在庫から瑕疵などで不良品が発生した場合、『不良在庫数量』項目に移動する(必須)。

不良在庫が卸・メーカー責の場合は『引取予定数量』項目へ、センター責の場合は『汚破損等数量』項目へ移動する(任意)。

なお、どちらの責かわからない場合は、一時的に『保留在庫数量』項目へ移動して、調査をおこなう(任意)。

【棚卸差異等が発生した場合】

実地棚卸をおこなう等して、実棚数と帳簿在庫数の差異が発生した場合は、『棚卸差異数量』項目へ移動する(必須)。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 2)在庫マスタ情報

②在庫マスタ情報のセット方法

在庫状況の例をもとに、在庫マスタ情報のセット方法を示す。

【在庫状況の例】

- センターX(センターコード:33333)は、メーカーAの商品A(商品コード:495555001)について2009年1月12日の在庫マスタ情報を作成し、卸Z(取引先コード:11111)に報告したとする。
- ・前日(2009年1月11日締め後)の商品Aの良品在庫は500個あり、不良在庫数量および棚卸差異数量はゼロであった。
当日(2009年1月12日)に商品Aの入庫100個、出庫200個があり、帳簿上の良品在庫は400個となった。
 - ・当日の締め前に、商品Aの実地棚卸をおこなったところ、①20個の商品に瑕疵(不良在庫)が発見された。このうち②10個は卸・メーカーによる入庫不良であることが明らかとなったため引取予定数量に移動した。③残り10個の瑕疵についてはどちらの責かわからないため保留在庫数量に移動した。
 - ・また、良品在庫が④帳簿上の数量よりも10個不足していることが判明し棚卸差異数量に移動した。この結果、⑤良品在庫は370個となった。
 - ・センターXは、⑥当日の処理を締めて、⑦日次報告として商品Aについての在庫マスタ情報を卸Zに報告した。



【在庫マスタ情報のセット方法】

取引先																		
取引先 コード	センター																	
	センター コード	小売 コード	在庫 日次/月次 区分	在庫締日	在庫明細 商品 コード (発注用)	在庫マスタ情報											棚卸差異	
						良品在庫 数量	不良在庫 数量 (総計)	卸／メーカー責					センター責 汚破損等 数量	保留 保留在庫 数量	棚卸差異 数量符号	棚卸差異 数量		
								引取予定 数量 (合計)	引取予定の内訳									
									在庫期限 切れ	廃番	過剰在庫	入庫不良					その他	
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【必須】	【必須】	
11111	33333	22222	01 (日次)	20090112	495555001	370	20	10					10			10	- (マイナス)	1
			⑦	⑥		⑤	①	②					②			③		④

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス (3)在庫トランザクション情報

①在庫トランザクション情報の基本定義

在庫トランザクション情報は、センターが卸・メーカーに対して、当日の入出庫作業完了後、「本日時点の入出庫状況、不良在庫などの返却や精算状況を報告する」ためのメッセージである。

なお、在庫トランザクション情報は、在庫マスタ情報と合わせて、卸・メーカーに報告する。

項目	意味
(a) 当日良品入庫数量 【任意】	当日卸・メーカーからセンターに補充された数量 「入庫確定メッセージ」で卸・メーカーに連絡したときの入庫確定数量を示す。
(b) 良品入庫数量修正 【任意】	入庫数量の訂正数 前回送信時から、何かの要因で入庫された数量に誤りがあった場合、この項目に訂正数をセットする。
(c) 当日良品出庫数量 【任意】	当日センターから出荷した数量 当日センターから小売に出荷した数量を示す。
(d) 引取数量 【任意】	不良在庫として卸・メーカーに引き取ってもらった数量 センター内の卸・メーカー責の不良在庫(不良品、廃番品、過剰在庫、入庫不良など)を卸・メーカーに引き取ってもらった数量を示す。 なお、引取数量は「入庫確定メッセージ」を使って、引取が確定した旨を卸・メーカーに連絡した数量と同じ。
(e) 汚破損精算数量 【任意】	汚破損として卸・メーカーに精算した数量 センター責の不良在庫として、卸・メーカーに精算した数量を示す。
(f) 棚卸差異精算数量 【任意】	棚卸差異として卸・メーカーに精算した数量 帳簿上の良品在庫の不足分(紛失)として、卸・メーカーに精算した数量を示す。
(g) センター内移動数量 【任意】	当日センター内で在庫が移動した数量 良品在庫から不良在庫、不良在庫内の移動数量を表す。

(a)～(g)の数量項目は符号付きで、数量をセットする場合は必ず符号(数量<0は－、数量≥0は＋)も合わせてセットする

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 3)在庫トランザクション情報

【在庫トランザクション情報を使用するにあたっての主な留意点】

「(b)良品在庫数量修正」項目について

『良品在庫数量修正』項目は、良品在庫数量を適切に管理するために、入庫の誤確定等が発生した場合、誤った数量分を在庫トランザクション情報の『良品在庫数量修正』項目を使用して訂正するとともに、在庫マスタ情報の『良品在庫数量』項目に訂正数量分を反映し、卸に報告するものである。

例えば、センターによる誤確定が発生した場合、『良品在庫数量修正』項目を使用して以下のように修正する。

- ①卸・メーカーは入庫予定メッセージを使用して、商品Aを100個入庫する旨を預りDCに連絡。
- ②当日に卸・メーカーより80個が入庫されたが、預りDC側で誤って100個で検品し、入庫確定メッセージで100個入庫された旨を連絡。また、在庫マスタ情報の『良品在庫数量』に100個分が加算され、在庫トランザクション情報の『当日良品入庫数』も100個で報告。
- ③後日、預りDC又は卸・メーカーで誤確定に気づき、預りDCで在庫トランザクション情報の『良品在庫数量修正』項目に“-20個”をセットするとともに、在庫マスタ情報の『良品在庫数量』から20個分を減算して、卸・メーカーに報告。

3. メッセージの基本定義とセット方法

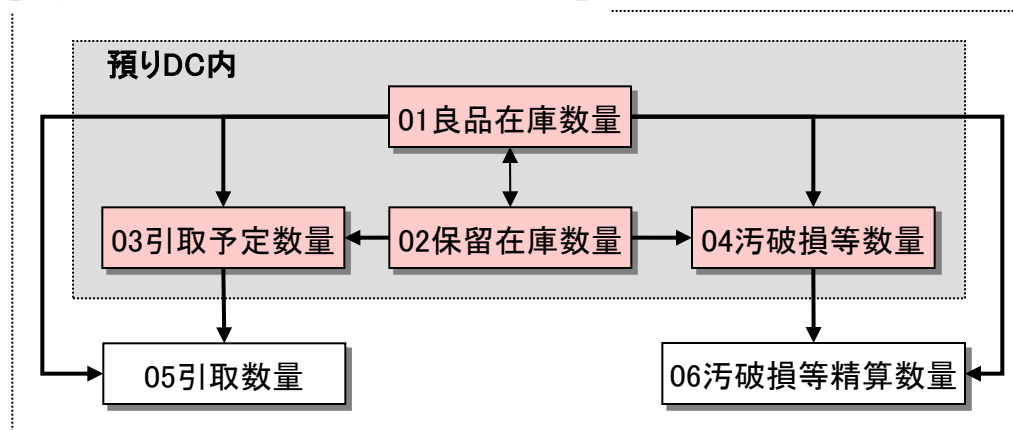
(2)在庫報告プロセス 3)在庫トランザクション情報

「(g)センター内在庫移動数量」項目について

『センター内在庫移動数量』項目は、良品在庫から不良在庫、不良在庫内の移動数量の実態を適切に把握・管理するとともに、これを卸に連絡するものである。

センター内移動数量項目は、移動元、移動先をコードリスト化し項目を設けており、卸とセンターとの相対での取り決めで、コードリストから移動元項目と移動先項目を選択し、移動数量をセットする。

【預りDC内の在庫の移動パターン例】



【コードリスト】

移動元項目	移動先項目
01良品在庫数量	01良品在庫数量
02保留在庫数量	02保留在庫数量
03引取予定数量	03引取予定数量
04汚破損等数量	04汚破損等数量
05引取数量	05引取数量
06汚破損等精算数量	06汚破損等精算数量
07～NN 相対	07～NN 相対

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス (3)在庫トランザクション情報

②在庫トランザクション情報のセット方法

在庫状況の例をもとに、在庫トランザクション情報のセット方法を示す。

【在庫状況の例】

センターX(センターコード:33333)は、メーカーAの商品A(商品コード:495555001)について2009年1月12日の在庫トランザクション情報を作成し、卸Z(取引先コード:11111)に報告したとする。

- ・当日(2009年1月12日)に商品Aの①入庫100個、②出庫200個があった。
- ・前回の商品Aの入庫で20個分多く検品していたことが判明し、③『良品入庫数量修正』項目を使って20個分を減数修正した。
(同時に、在庫マスタ情報の『良品在庫数量』も20個分を減数修正した)
- ・当日、卸・メーカー責の不良在庫10個を引き取ってもらったため、④引取予定数量にあった10個分を引取数量に移動した。
(同時に、「入庫確定メッセージ」を使って、引取が確定した旨を卸・メーカーに連絡した。)
- ・当日、センター責の不良在庫10個を精算したため、⑤汚破損等数量にあった10個分を汚破損等精算数量に移動した。
- ・当日、商品Aの実地棚卸をおこなったところ、20個の商品に瑕疵(不良在庫)が発見された。このうち⑥10個は卸・メーカーによる入庫不良であることが明らかとなったため引取予定数量に移動した。⑦残り10個の瑕疵についてはどちらの責かわからないため保留在庫数量に移動した。



【在庫トランザクション情報のセット方法】(センター内在庫移動数量については次ページに表記)

取引先																	
取引先 コード	センター																
	センター コード	小売 コード	在庫 日次/月次 区分	在庫締日	在庫明細 商品 コード (発注用)	在庫トランザクション情報											
						当日良品入庫数量		良品入庫数量修正		当日良品出庫数量		引取数量		汚破損精算数量		棚卸差異精算数量	
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】
11111	33333	22222	01 (日次)	20090112	495555001	+	100	-	20	+	200	+	10	+	10		
						(プラス)		(マイナス)		(プラス)		(プラス)		(プラス)			

①

③

②

④

⑤

3. メッセージの基本定義とセット方法

(2)在庫報告プロセス 3)在庫トランザクション情報

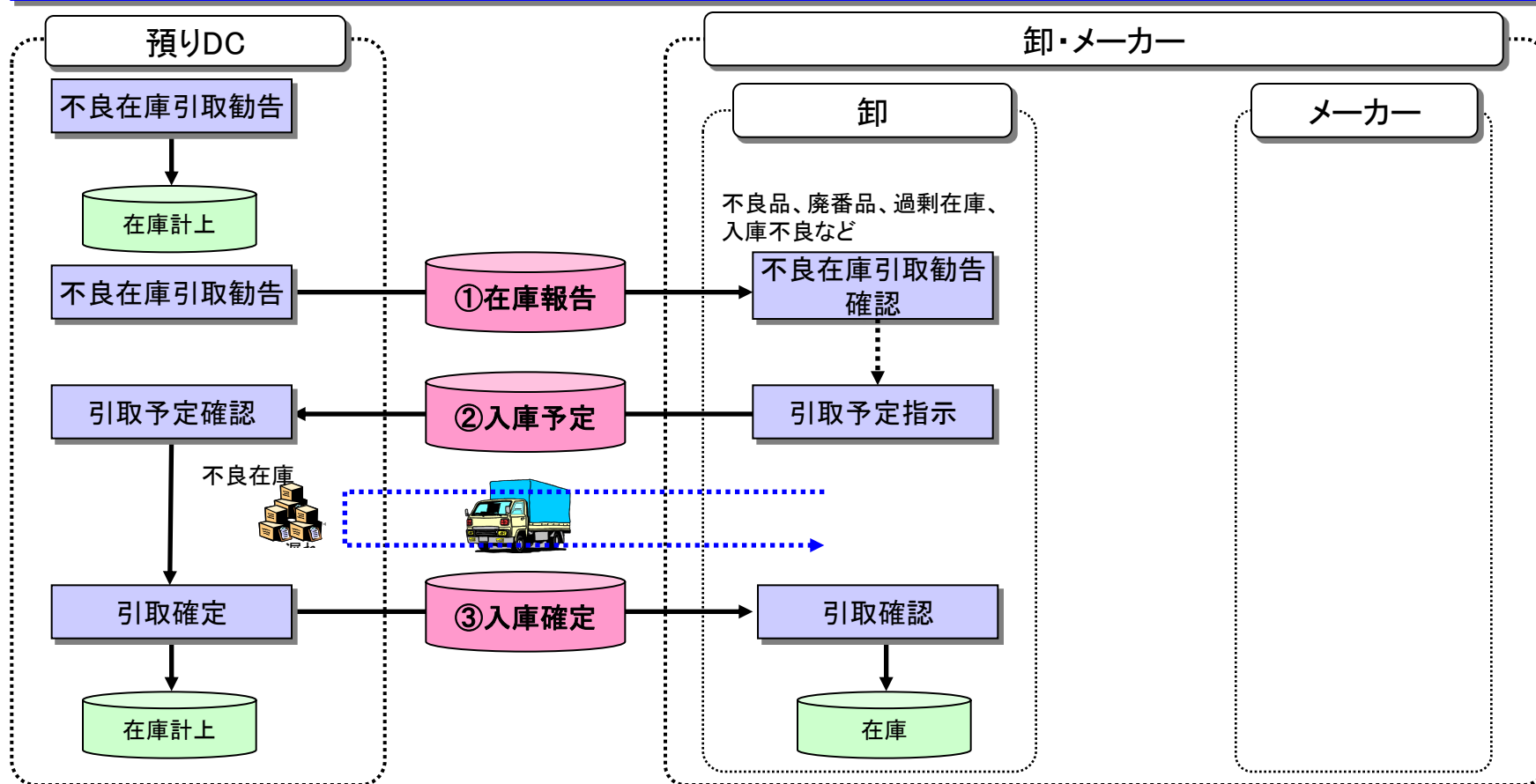
【センター内在庫移動数量のセット方法】

	移動元 【任意】	移動先 【任意】	符号 【任意】	移動数量 【任意】
⑦ {	01良品在庫数量	02保留在庫数量	+	10
⑥ {	01良品在庫数量	03引取予定数量	+	10
	01良品在庫数量	04汚破損等数量		
	01良品在庫数量	05引取数量		
	01良品在庫数量	06汚破損等精算数量		
	02保留在庫数量	01良品在庫数量		
	02保留在庫数量	03引取予定数量		
	02保留在庫数量	04汚破損等数量		
④ {	03引取予定数量	05引取数量	+	10
⑤ {	04汚破損等数量	06汚破損等精算数量	+	10

3. メッセージの基本定義とセット方法

(3)不良在庫の引取プロセス 1)不良在庫の引取プロセスの概要

- ①センター内で卸・メーカー責の不良在庫が発生した場合、センターは日々送付する在庫報告メッセージの項目を利用して、不良在庫の引き取りを卸・メーカーに勧告することができる。
- ②卸・メーカーは不良在庫となった商品、数量などを確認し、入庫予定メッセージを使用して不良在庫となった商品の引き取り予定日などをセンターに連絡する。
- ③卸・メーカーが不良在庫を引き取ったことを確認した後、センターは引取りが確定した旨を入庫確定メッセージを使用して卸・メーカーに連絡する。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(3) 不良在庫の引取プロセス 2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ

① 不良在庫の引取に関わるメッセージの基本定義

センター内で発生した卸・メーカー責の不良在庫（不良品、廃番品、過剰在庫、入庫不良など）の引き取りを以下に示すメッセージを使用して処理をおこなう。

メッセージを使用するうえでの原則として、卸・メーカーから連絡された引取予定のデータ項目は、引取確定のデータ項目に引継ぐ。

なお、小売から返品されてきた商品については、不良在庫として取り扱わない。

■ 不良在庫引取勧告（在庫報告メッセージを使用）

センター内で発生した不良在庫『不良品、廃番品、過剰在庫、入庫不良など』は、卸・メーカーと協議の上、在庫報告メッセージの在庫マスタ情報にある『引取予定数量』項目を使用して、不良在庫の引き取りを勧告する。

最終的にはセンター、卸・メーカー双方の合意のもと、卸・メーカーに引き取ってもらう不良在庫の内容（不良品、廃番品、過剰在庫、入庫不良など）と数量が決定されるが、そのプロセスの詳細については、在庫マスタ情報の利用方法により各社様々であるため、相対で取り決める。

■ 引取予定（入庫予定メッセージを使用）

引き取り対象となる不良在庫の内容と数量が決定した後、卸・メーカーは『入庫予定メッセージ』の『入庫／引取区分』を『02 引取』に設定して、引き取りをおこなう商品、数量、引き取りの予定日などを入庫予定メッセージにセットしてセンターに連絡する。

■ 引取確定（入庫確定メッセージを使用）

引き取り予定日に、卸・メーカーはセンターの不良在庫を引き取る。引き取りが確定すると、センターは『入庫確定メッセージ』の『入庫／引取区分』を『02 引取』に設定して、引き取りが確定した商品、数量、確定日などを入庫確定メッセージにセットして、卸・メーカーに連絡する。

3. メッセージの基本定義とセット方法

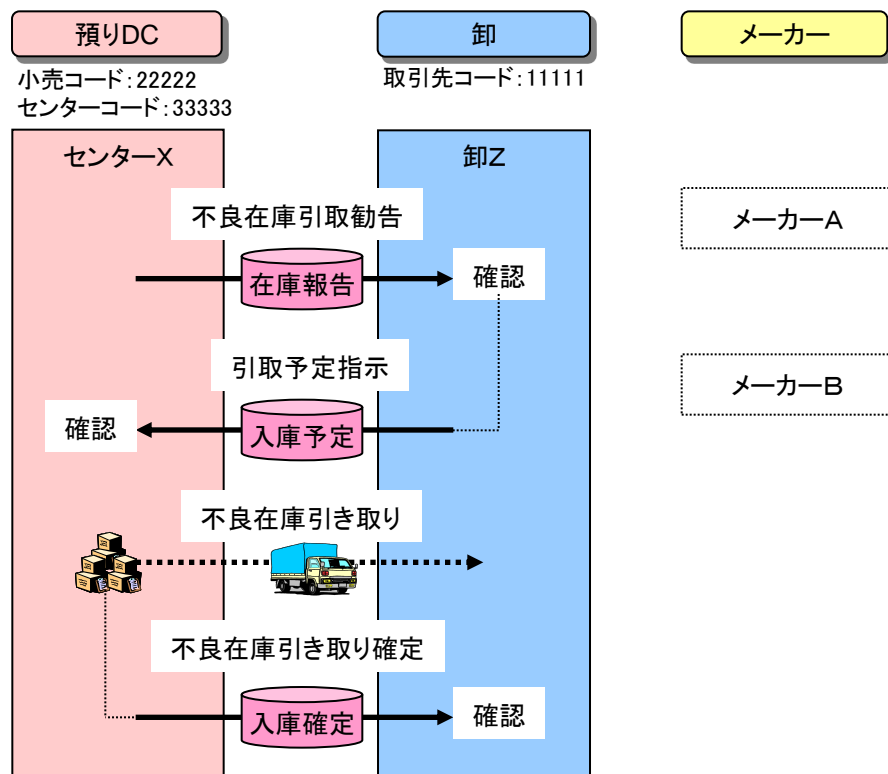
(3) 不良在庫の引取プロセス 2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ

② 不良在庫の引取に関わるメッセージのセット方法(1/3)

不良在庫の引取例をもとに、在庫報告、入庫予定、入庫確定メッセージへのセット方法を示す。

【不良在庫の引取例】

- ① センターXは、卸Z責の不良在庫が発生したため、在庫報告メッセージを使って、不良在庫の引取を卸Zに勧告した。
- 【引取勧告内容】
- ・商品コード: 4955550001
 - ・引取予定数量: 20個 (理由: 入庫不良)
 - ・商品コード: 496666002
 - ・引取予定数量: 10個 (理由: その他)
- ② 卸Kは、不良在庫の内容を確認し、入庫予定メッセージを使って、不良在庫の引取をセンターXに連絡した。
- 【引取予定内容】
- ・商品コード: 4955550001
 - ・引取予定数量: 20個
 - ・引取予定日: 2008年12月24日
 - ・商品コード: 496666002
 - ・引取予定数量: 10個
 - ・引取予定日: 2008年12月24日
- ③ 卸Zは、引取予定日どおりに、不良在庫の引き取りをおこない、センターは引き取りを確認した後、入庫確定メッセージを使って、引き取りが確定した旨を卸Zに連絡した。



3. メッセージの基本定義とセット方法

(3) 不良在庫の引取プロセス 2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ

② 不良在庫の引取に関わるメッセージのセット方法(2/3)

前ページの不良在庫の引取例より、在庫報告メッセージによる引取の勧告、入庫予定メッセージを使った引取の連絡、入庫確定メッセージを使った引取の確定についてのセット方法は以下のとおり。

【在庫報告メッセージのセット例】

取引先																
取引先 コード	小売／センター				在庫明細 商品コード (発注用)	在庫マスタ情報										
	小売 コード	センター コード	在庫 日次／月次 区分	良品在庫		不良在庫		卸／メーカー責不良在庫数量					センター責	保留		
				良品在庫 数量		不良在庫 数量(総計)	引取予定 数量(合計)	引取予定の内訳							汚破損等 数量	保留在庫 数量
								出庫期限 切れ	廃番	過剰在庫	入庫不良	その他				
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】	【任意】		
1111	2222	3333	01 (日次)	495555001	500	20	20	0	0	20	0	0	0	0		
				496666002	300	10	10	0	0	0	0	10	0			

引取勧告

【入庫予定メッセージのセット例】

取引先								
取引先コード	入庫/引取 区分	取引				取引明細		
		取引番号	小売コード	センター コード	センター 入庫予定日	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫予定 数量(バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	02 (引取)	* 1	22222	33333	20081224	* 1	495555001	20
						* 1	496666002	10

在庫報告の引取予定数量
項目の数量を確認し、引
き取る数量を入庫予定数
量にセットする

* 1: 取引番号と取引明細番号のデータのセット内容については、センター／卸・メーカー間で取り決める。

引取区分に設定する

引取予定日をセットする

3. メッセージの基本定義とセット方法

(3) 不良在庫の引取プロセス 2) 不良在庫の引取に関わるメッセージ

② 不良在庫の引取に関わるメッセージのセット方法(3/3)

【入庫確定メッセージのセット例】

 入庫予定メッセージからの引き継ぎ項目

 センター側でセットする項目

取引先											
取引先 コード	入庫/引取 区分	取引		センター 入庫確定日	取引明細						
		小売コード	センター コード		取引番号	センター 入庫予定日	取引明細 番号	商品コード (発注用)	入庫/引取 確定完了 区分	入庫 予定数量 (バラ)	入庫 確定数量 (バラ)
【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】	【必須】
11111	02 (引取)	22222	33333	20081224	* 1	20081212	* 1	495555001	01 (確定完了)	20	20
					* 1	20081212	* 1	496666002	01 (確定完了)	10	10

* 1: 取引番号と取引明細番号のデータのセット内容については、センター／卸・メーカー間で取り決める。

引き取りをおこなった年月日を
センター入庫確定日にセットする

引き取りが確定した旨の
「01 確定完了」をセットする

引き取りをおこなった数量を入
庫確定数量にセットする

(ご参考)メッセージ構造

1. メッセージの構造

(1)XMLについて

流通ビジネスメッセージ標準は、XML言語で記述されている。

XMLは、Extensible Markup Language の略であり、
タグと呼ばれるマークを使用して、文書構造を記述する言語である。

XMLは、

- ①各データ項目単位に、データの内容を表すタグが付いている
 - ②複数のデータ項目をグループ化(構造化)することが可能である
- といった特徴を持つ、柔軟性の高い言語である。

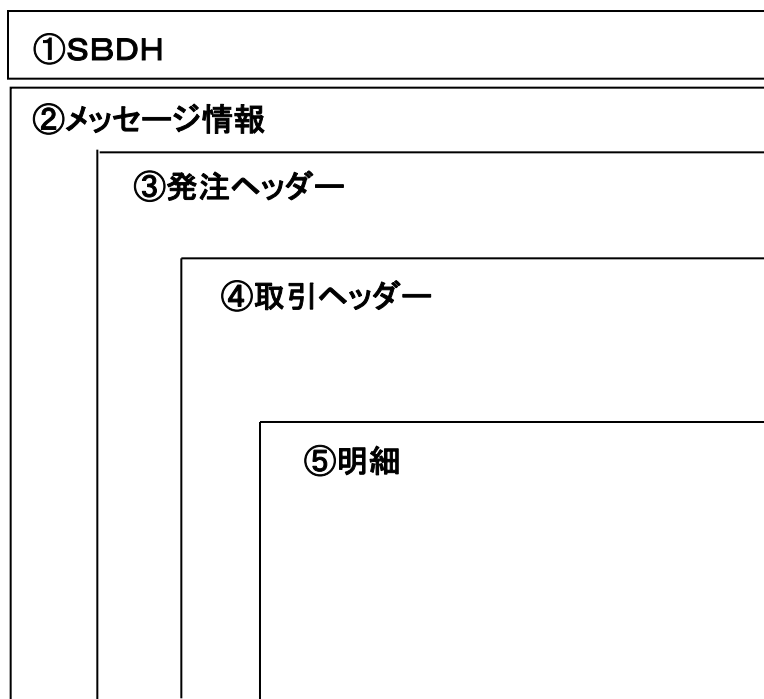
EDI標準にXMLを採用することによって、従来のEDIにはない、
“システム環境に依存することなくデータの転送を行える”
“人手を介するデータの検索、加工、転記が不要である”
といったメリットが生まれる。

1. メッセージの構造

(2)メッセージの基本的構造について

流通ビジネスメッセージ標準の各メッセージは、基本的に以下の図の通り、①SBDH※、②宛先ヘッダー、③発注ヘッダー、④取引ヘッダー ⑤明細

5つの部分から構成される。

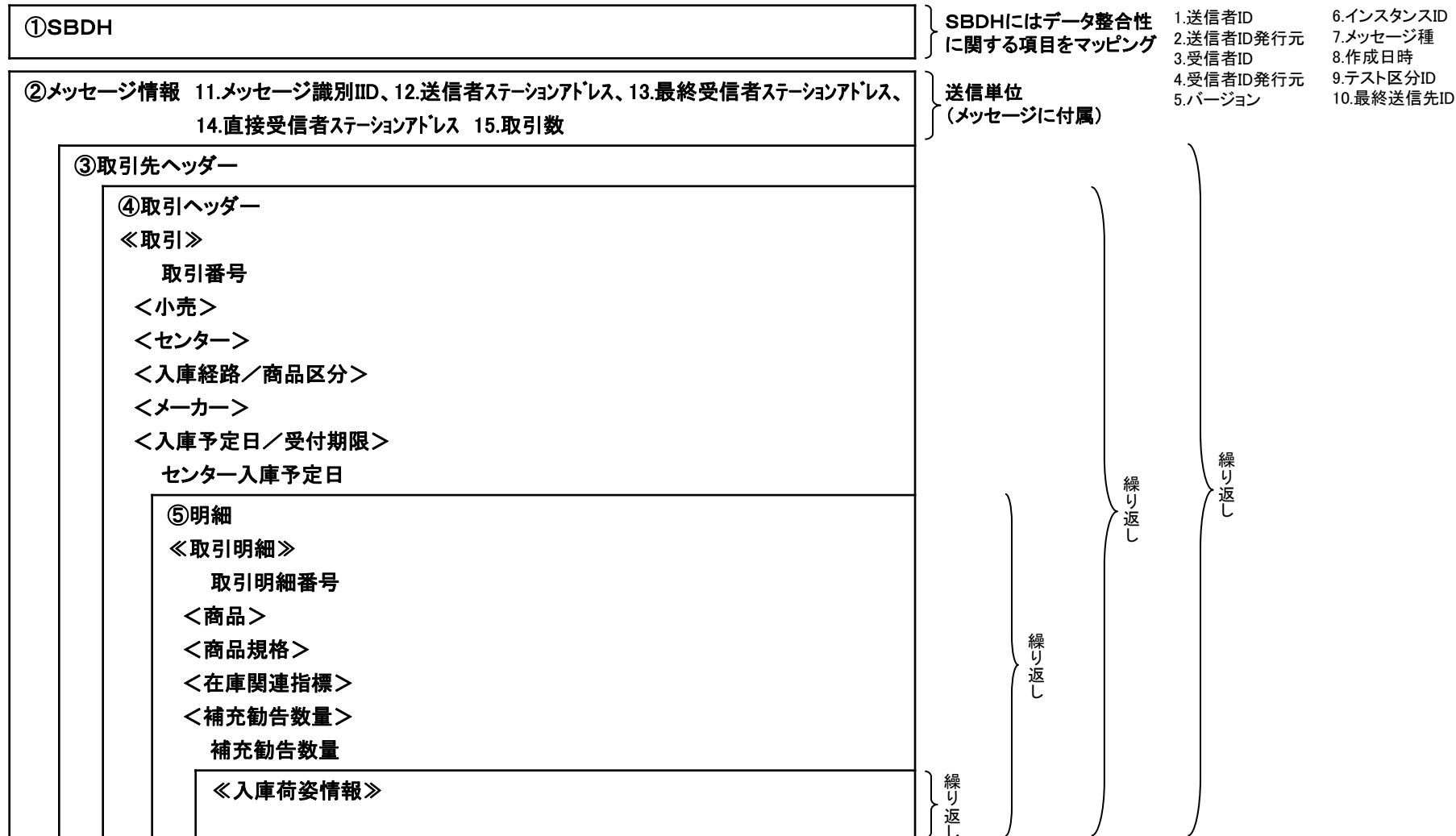


①	SBDH	メッセージの送受信に必要な情報を記述 送信プロトコルの規定に従って参照される。
②	メッセージ情報	メッセージに含まれる取引件数や、最終送信先への送受信件数を集計するのに用いられる。
③	発注ヘッダー	送信されるメッセージの取引に関するデータを含む発注者 と支払法人が記述される。出荷梱包の場合のみ 発注者と最終納品先ごとの梱包に関する情報を括る故取引先や直接納品先などの項目が記述される。
④	取引ヘッダー	一取引における取引明細情報を括る項目が記述される。 伝票での伝票ヘッダーにあたる。
⑤	明細	一取引における取引明細が記述される。

※SBDHとは、UN/CEFACTのSTANDARD BUSINESS DOCUMENT HEADERの略であり、メッセージ・ヘッダーとして用いる。

2. メッセージ別の階層構造概要

在庫補充勧告メッセージ 《預り在庫型センター納品プロセス》



※入庫荷姿情報は繰返し項目になっています、
繰返し回数は相対間で調整して確定する。

※賞味期限別数量、入庫予定荷姿情報は繰返し項目なので、繰返し回数は相対間で調整して確定してください。

①SBDH

SBDHにはデータ整合性に関する項目をマッピング

- | | |
|------------|------------|
| 1.送信者ID | 6.インスタンスID |
| 2.送信者ID発行元 | 7.メッセージ種 |
| 3.受信者ID | 8.作成日時 |
| 4.受信者ID発行元 | 9.テスト区分ID |
| 5.バージョン | 10.最終送信先ID |

②メッセージ情報 11.メッセージ識別IID、12.送信者ステーションアドレス、13.最終受信者ステーションアドレス、14.直接受信者ステーションアドレス 15.取引数

送信単位
(メッセージに付属)

③取引先ヘッダー

<入庫・引取区分>

入庫・引取区分

④取引ヘッダー

＜小売＞

＜センター＞

<入庫確定日>

センター入庫確定日

<入庫経路／商品区分>

<メーカー>

⑤明細

《取引明細》

取引番号

取引明細番号

<商品>

＜商品規格＞

＜確定完了区分＞

入庫／引取確定完了区分

<入庫予定数量>

入庫予定数量

《賞味期限別数量》

《入庫予定荷姿情報》

<入庫確定数量>

入庫確定數量

《嘗味期限別数量》

《入庫確定荷姿情報》

繰り返し

繰り返し

繰り返し

繰返し

繰返し

※賞味期限別数量、
入庫予定荷姿情報は
繰返し項目なので、
繰返し回数は相対
間で調整して確定し
てください。

2. メッセージ別の階層構造概要

在庫報告メッセージ 《預り在庫型センター納品プロセス》

①SBDH	SBDHにはデータ整合性に関する項目をマッピング	1.送信者ID 2.送信者ID発行元 3.受信者ID 4.受信者ID発行元 5.バージョン 6.インスタンスID 7.メッセージ種 8.作成日時 9.テスト区分ID 10.最終送信先ID
②メッセージ情報 11.メッセージ識別IID、12.送信者ステーションアドレス、13.最終受信者ステーションアドレス、14.直接受信者ステーションアドレス 15.取引数	送信単位 (メッセージに付属)	
③卸/メーカーヘッダー		
④センターヘッダー <小売> <センター> <種別>		
⑤明細 <メーカー> <商品> <規格> <商品分類> <出庫止め区分>		
【在庫マスタ情報】 <良品在庫> <良品在庫内の定番/特売数量> <良品在庫内の最古賞味期限日の数量>	繰り返し	
<div data-bbox="357 782 1207 846"><良品在庫内の賞味期限別良品在庫数量></div> <不良在庫> <不良在庫内の卸/メーカー責不良在庫数量> <引取予定数量(合計)の内訳> <不良在庫内のセンター責不良在庫数量> <不良在庫内の保留在庫数量> <棚卸差異数量>	繰り返し	
【在庫トランザクション情報】 <入出庫等数量> <センター内在庫移動数量>		
<div data-bbox="357 1139 1207 1175">移動元コード</div> <div data-bbox="415 1175 1207 1225">移動先コード、移動数量</div>	繰り返し	
【指標等設定情報】 指標等設定欄	繰り返し	繰り返し

※移動元コード、指標等設定欄は繰返し項目なので、繰返し回数は相対間で調整して確定してください。

